

DIGITAL VIDEO RECORDER

取扱説明書



MAIUS PLUS SERIES

FDS-1620M / 820M

Ver : MAIUS PLUS_JPN_1.1

* 正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用下さいます様お願い申し上げます。

安全及び注意事項



ご使用上の注意

- ☞ この度はデジタルビデオレコーダーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
- ☞ この取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用下さい。

- ☞ ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載しておりますので、必ず守って下さい。
- ☞ お読みになった後は、大切に保管して下さい。

◆ 絶対に分解したり、修理、改造しない。

- 1) 火災、感電、けがの原因になります。
- 2) 内部には電圧の高い部分があり、とても危険です。
- 3) 修理は販売店にご相談下さい。

◆ 湿気やほこりの多い場所や風、雨にさらされる場所には置かない。

- 1) 液体の入った容器や小さな金属物を上に置かないで下さい。

◆ 濡れた手で電源プラグの抜き差しはしない。

- 1) 感電の原因になります。

◆ 雷が鳴り出したら、電源プラグや同軸ケーブルには触らない。

◆ 傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない。

- 1) 感電、ショート、発火の原因になります。

◆ 指定されたハードディスク以外の製品は使用しない。

◆ 電源コードを傷つけない。

(傷つけ、加工、無理な曲げ、引っ張り、ねじり、重いもの載せる、挟み込むなどしない。)

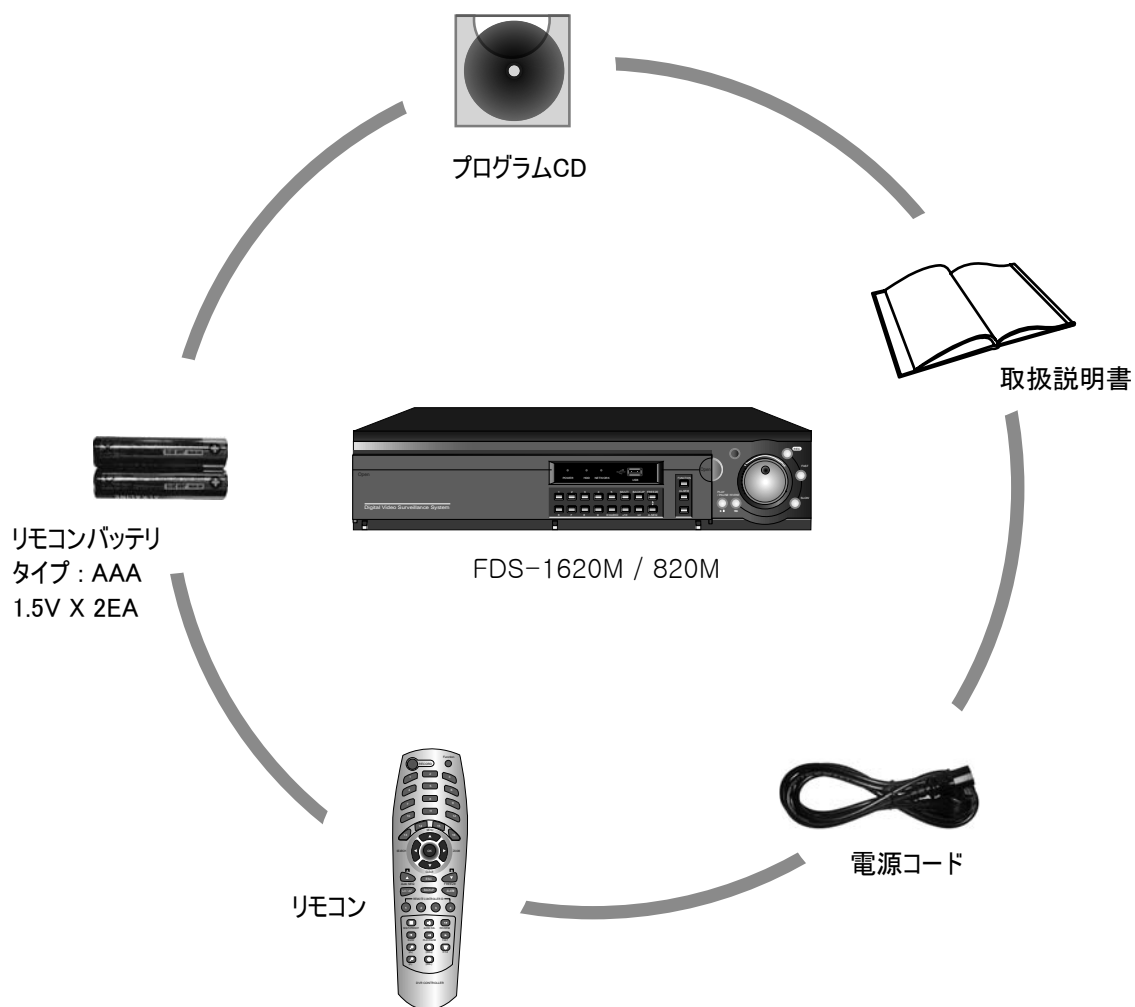
- 1) 電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。
- 2) 動作しなくなったり、煙が出ている、変なにおいがするなど異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いてお買い求めの販売店に必ずご連絡下さい。
- 3) お手入れの時や長期間この製品をご使用にならない時、または移動させる時は電源スイッチを切ってから電源プラグを抜いて下さい。

◆ 機会本体の付近には、磁石などの磁気を帯びた物を近付けない。

◆ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

製品の構成

ⓘ 製品構成は本製品の改善などの為予告無く変更する場合があります。



1. システムの設置

1-1. 本体の正面

1-2. 本体の背面

1-3. HDD/ODD 増設

1-4. PTZの接続および使用法

1-5. リレーの接続および使用法

1-6. センサーの接続および使用法

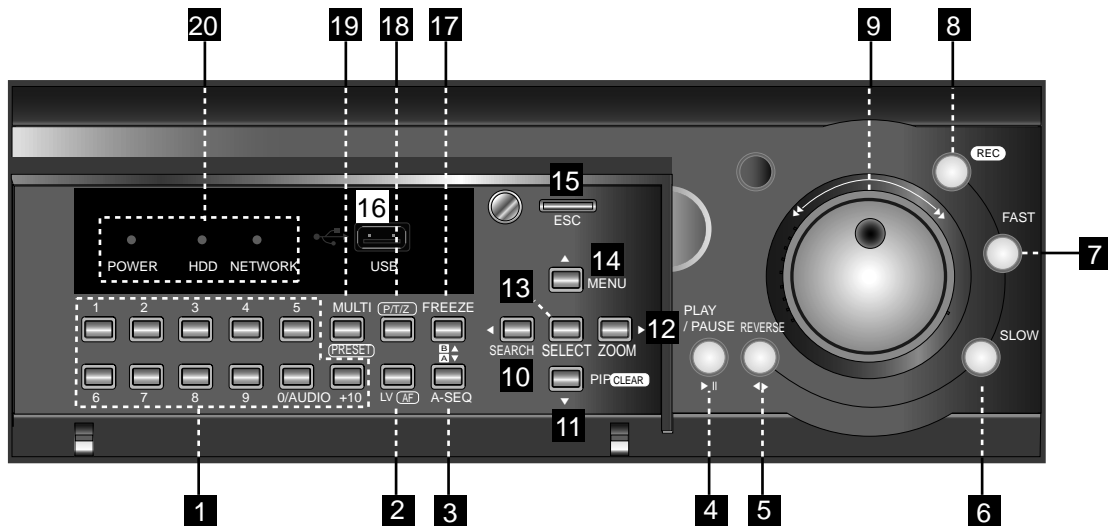
1-7. リモコンの使用法

1-8. マウスの使用法

1-9. ビデオタイプ(NTSC/PAL/AUTO)の設定

1-1. 本体の正面

[フロントパネルカバーオープン]



- 1 数字ボタン:チャンネルを選択したりパスワードを入力するときに使用します。
- 2 LV/AF
 - ① LV (Live): ライブに戻ります。
 - ② AF (Auto Focus): PTZ モードでオートフォーカス機能を提供します。
- 3 A-SEQ/▼/A
 - ① ライブ画面: 自動順次切替(シーケンス)
 - ② メニュー画面: 設定値を変更する時に使用します(▼)。
 - ③ 再生画面: リピートする時点(開始時点)である“A”を指定します。
- 4 PLAY / PAUSE
 - ① PLAY: 再生ボタン
(ライブでボタンを押すと最後に検索したデータから再生が始まります。)
 - ② PAUSE: 一時停止ボタン
- 5 REVERSE: 再生中に逆再生する時に使用します。
- 6 SLOW: 再生中にスローで再生します。
(1/2, 1/4, 1/8, 1/16, 1/32, 1/64, 1/128)
- 7 FAST: 再生中に早送りで再生します。
(2, 4, 8, 16, 32, 64, 128)
- 8 REC: NORMAL(常時)録画します。

9 Jog/Shuttle

- ① Jog : コマ送りと設定値を変更する時に使用します。
- ② Shuttle : 再生速度、スケジュール設定、モーションエリアの設定を変更する時に使用します。

10 Search / ◀

- ① Search : 録画データ(保存した映像)を検索します。
- ② ◀ : メニューを移動する時に使用します。

11 PIP / ▼ / CLEAR

- ① PIP (Picture in Picture) : フル画面の中に別のチャンネルの小さい画面を表示します。
- ② ▼ : メニューを移動する時に使用します。
- ③ CLEAR : リピート機能を中止または設定を取消します。

12 ZOOM / ▶

- ① ZOOM : ライブ画面をデジタルズームします。
- ② ▶ : メニューを移動する時に使用します。

13 SELECT : 設定の確認および項目を選択する時に使用します。

14 MENU / ▲

- ① MENU : DVRの設定メニューに入る時に使用します。
- ② ▲ : メニューを移動する時に使用します。

15 ESC : メニュー設定時に設定変更を取消します。

16 FRONT USB : USBメモリースティックを挿入してF/Wアップグレード、バックアップ、設定値保存およびロードなどが出来ます。

17 FREEZE / ▲ / B

- ① ライブ画面 : ライブ映像をフリーズ(FREEZE)します。
- ② メニュー画面 : 設定値を変更する時に使用します(▲)。
- ③ 再生画面 : リピートする時点(終了時点)である“B”を指定します。

18 PTZ : PTZカメラを制御します。

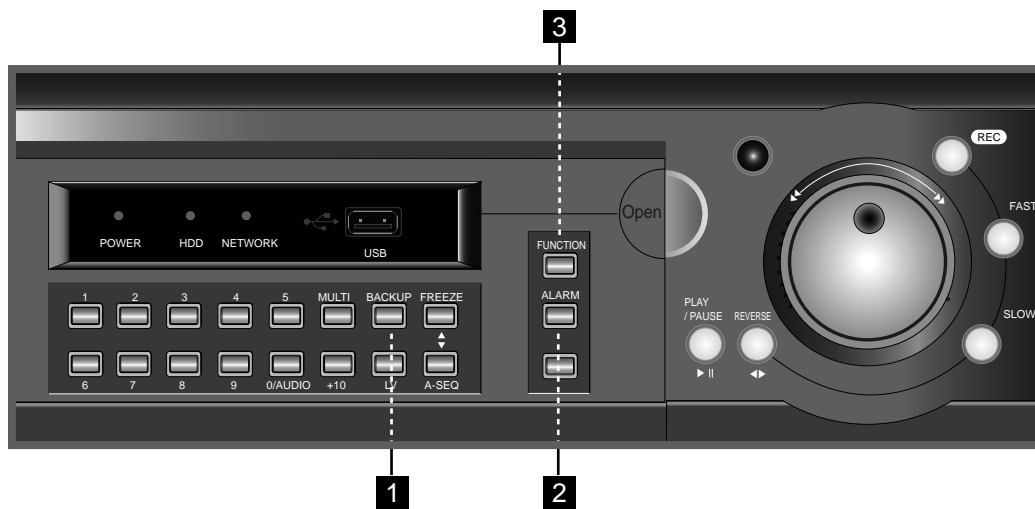
19 MULTI / PRESET

- ① MULTI : 分割画面を変更します。
- ② PRESET : PTZ画面でプリセット(PRESET)の機能を設定する時に使用します。

20 LED ER : 電源オンすると“赤色”と“ピンク色”のランプが点滅してシステムが完全に立ち上がると“赤色”のランプが点灯します。

- ② HDD : HDDが動作(録画、再生)すると“緑色”のランプが点滅します。
- ③ NETWORK : ネットワークで接続すると“ピンク色”のランプが点滅します。

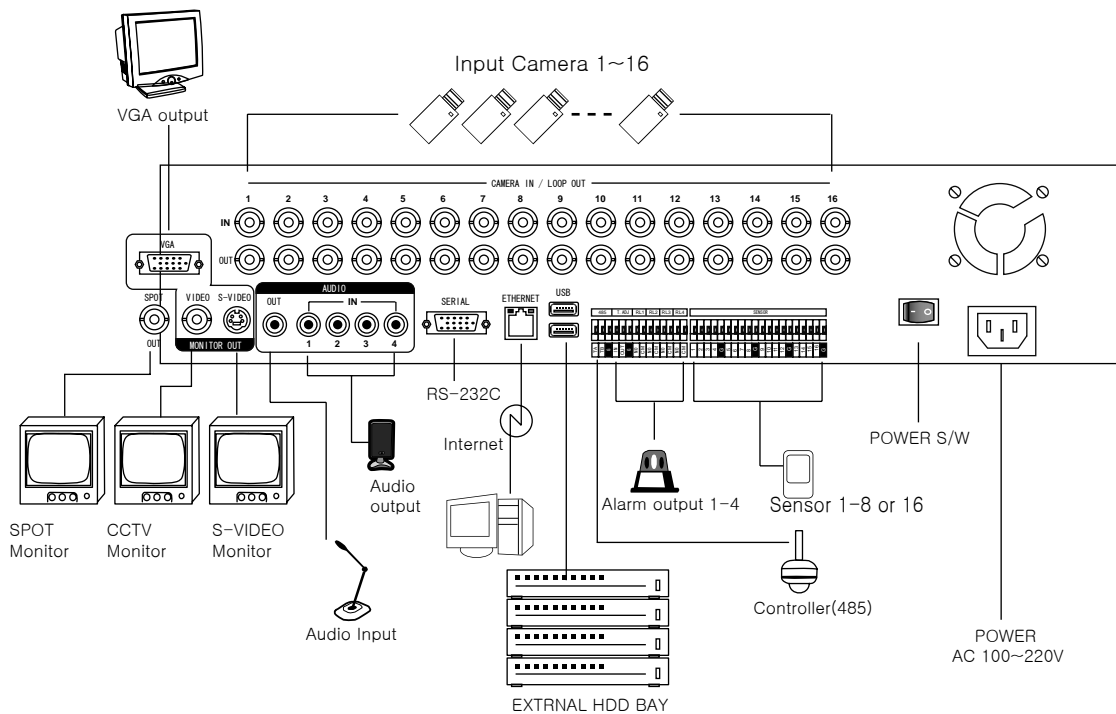
[フロントパネルカバークローズ]



ⓘ フロントカバーを開けた時とは一部の動作が異なります。

- 1 BACKUP : バックアップメニューに入る時に使用します。
- 2 ALARM : イベント設定によるアラームをオフする時に使用します。
- 3 FUNCTION : リレー4番を“USER”に設定した時に使用者の任意でリレーオン、オフが出来ます。
(“FUNCTION” + “▲” または “▼” を押すとオン、オフになります。リレー4番だけ設定が出来ます。)

1-2. 本体の背面



| 仕様 | モデル | |
|----------------|----------------------------------|---|
| | FDS-1620M | FDS-820M |
| ビデオ入力 / ループアウト | 16CH / 16CH | 8CH / 8CH |
| ビデオ出力 | 1 コンポジット, 1 S-ビデオ, 1 VGA, 1 スポット | |
| 音声 | 圧縮方式 | ADPCM |
| | 入力 / 出力 | 4CH (1CH~4CH) / 1CH |
| センサー / アラーム | 16 Ch / 4Ch | 8Ch / 4Ch |
| 通信 | RS-485 | 2 pins ターミナルブロック |
| | RS-232C | 9 pin male DSUB |
| | イーザネット | RJ-45, 10 / 100 base-Tx (インターネット & アップグレード) |
| | USB 2.0 | 外付けHDD接続 & アップグレード & バックアップ (フロント 1, リア 2) |

1-3. HDD / ODD 増設

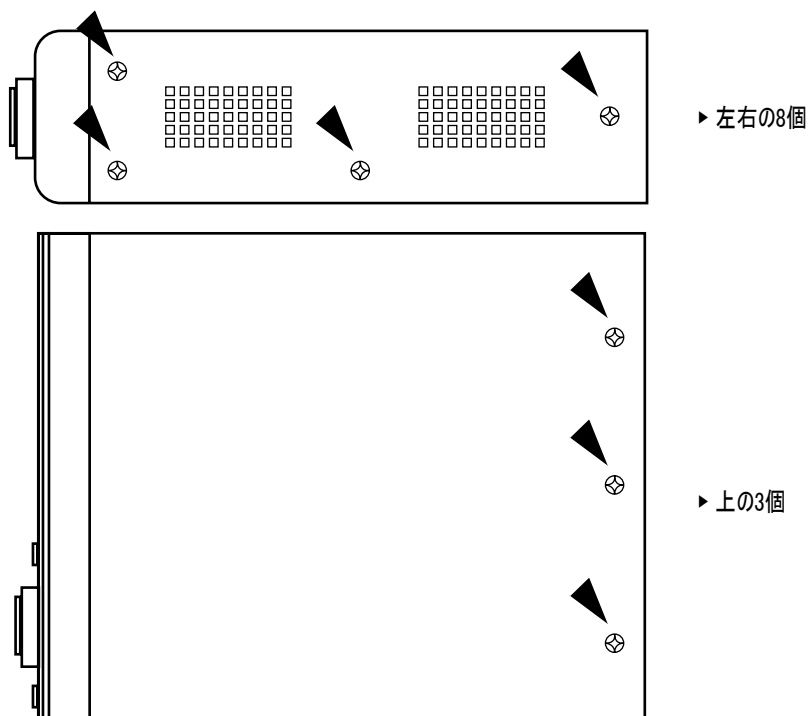
❗ 下記の内容を詳しく知っている状態でHDD/ODDの増設を行ってください。

[HDD増設時のご注意]

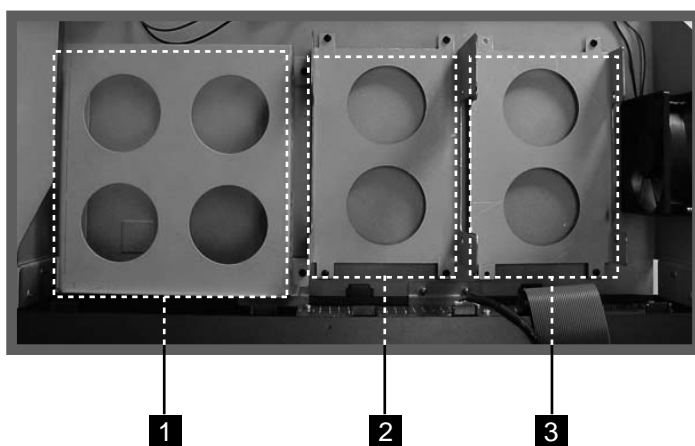
- ・HDDケーブルの絶縁被覆が外れないように注意します。
- ・手袋を着用して作業を行います。
- ・必ず電源をオフして作業を行います。
- ・分解したねじまたは部品をなくさないように注意します。

[HDD増設の方法]

1. 製品のねじを外してカバーを分離します。



2. 増設する位置にブラケット装着



- 1 ODD (CD/DVD R/W)を装着します。
- 2 HDD-1のブラケットを装着します。
- 3 HDD-2のブラケットを装着します。



(ODDブラケットに装着)

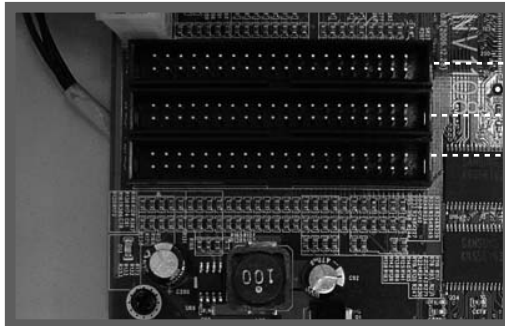


(HDDブラケットに装着)

* HDDは3個まで増設することができます。

3. ケーブルの接続

① ケーブルコネクタを確認します。

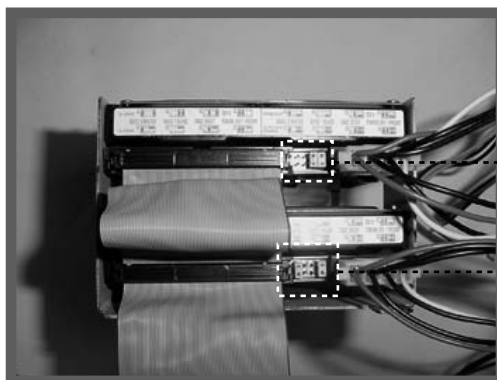


- 1 ODD ケーブルを接続
- 2 HDD-1 ケーブルを接続
- 3 HDD-2 ケーブルを接続



ケーブル接続が間違っていると製品が起動しなかったりHDDが認識されなかったりする可能性があります。

② 一つのケーブルで2個のHDDを接続する時にはマスターとスレーブを区分します。



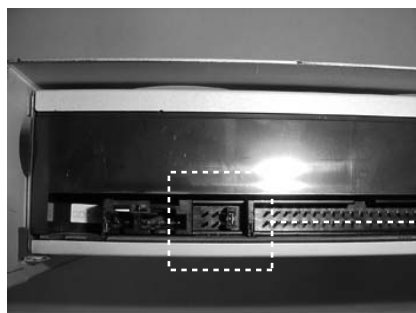
HDD ジャンパーをマスターに設定

HDD ジャンパーをスレーブに設定

マスターとスレーブの設定はHDDのマニュアルまたは下記のサイトを参考してください。

HITACHI : www.hitachi.com
MAXTOR : www.maxtor.com
SAMSUNG : www.samsunghdd.com
SEAGATE : www.seagate.com
WESTERN DIGITAL : www.westerndigital.com

③ ODD ジャンパーの設定

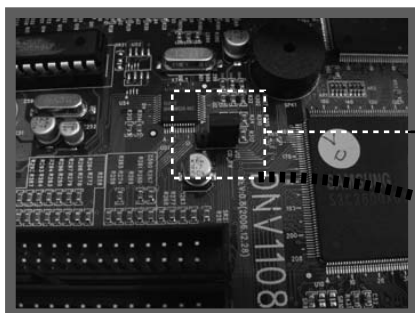


常に“マスター”に設定します。

④ ODD 使用によるマザーボードのジャンパーの設定

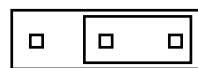


ODDは基本装着です。
下記の内容はODDのモデルを変更する場合とODDを認識されない場合に確認のために使用します。



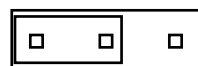
HDD ケーブルコネクタの右上に“J12 CD_RW” ジャンパーがあります。

- ODDが装着されている場合



J12
CD_RW

- ODDが装着されていない場合



J12
CD_RW

④ 電源ケーブルの接続



(ケーブルの接続)

* HDD、ODDをブラケットに装着して本体に固定した後、電源ケーブルを接続してねじでカバーをかぶせるとHDD、ODDの増設が完了されます。

1-4. PTZの接続および使用法

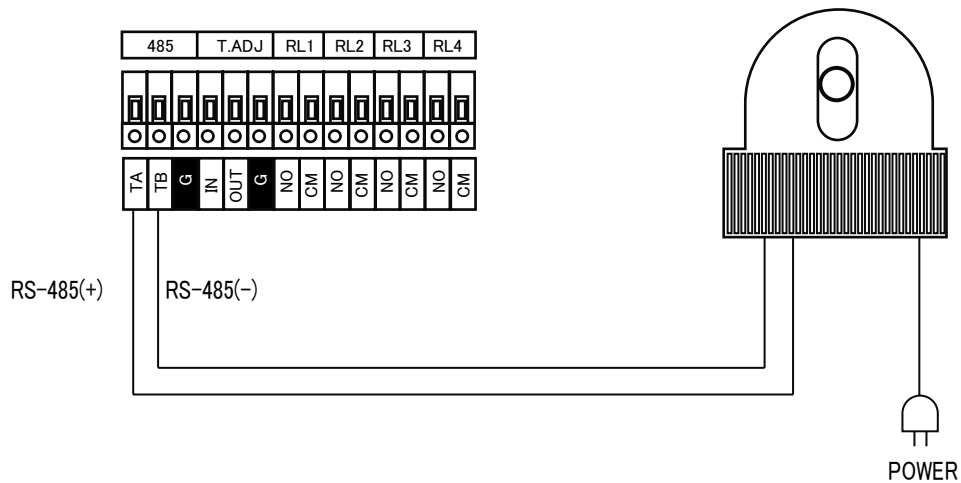
システムにPTZカメラを接続してシステムでPTZカメラを制御することができます。

支援モデル

1. SPD
2. SRX-100B
3. VC-C4R
5. SD-290
6. SCC-643
7. PELCO D-TYPE
8. DSC-230
9. CS-B54
10. DMP23
11. LPT-A100L
12. PELCO P-TYPE
13. BOSCH
14. TK-C655/C676
15. SK-D106
16. EZ

! PTZモデルは追加することができます。

1-4-1. PTZをシステムに接続



上図のようにRS-485端子をシステムの背面に接続します。

1-4-2. PTZ設定

PTZ カメラを設定します。

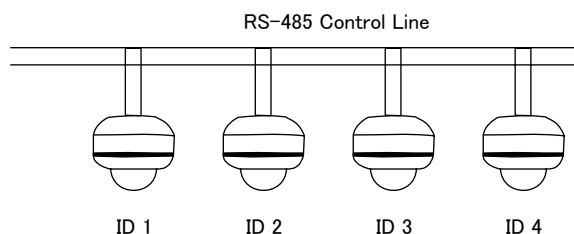
チャンネル別にPTZ“モデル(MODEL)”、“速度(SPEED)”、“ID”を設定します。詳しい設定はPTZカメラのマニュアルを参考してください。

| PTZ | | 1/2 | | |
|---------|-------|-------|----|--|
| CHANNEL | MODEL | SPEED | ID | |
| CH 1 | NONE | 9600 | 1 | |
| CH 2 | NONE | 9600 | 1 | |
| CH 3 | NONE | 9600 | 1 | |
| CH 4 | NONE | 9600 | 1 | |
| CH 5 | NONE | 9600 | 1 | |
| CH 6 | NONE | 9600 | 1 | |
| CH 7 | NONE | 9600 | 1 | |
| CH 8 | NONE | 9600 | 1 | |

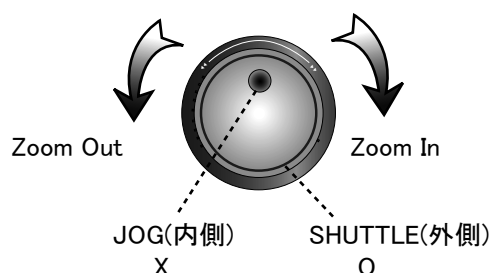
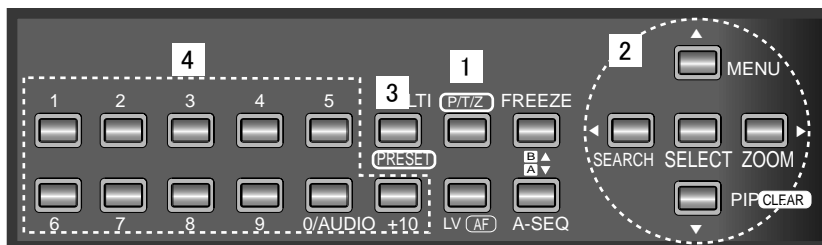
* 次のページの9CH-16CHへは ◀, ▶ で移動します。

- 1 CHANNEL : PTZが接続されているチャンネルを確認します。
- 2 MODEL設定 : PTZモデルを選択します。
- 3 SPEED : PTZカメラの速度を選択します。(カメラマニュアルを参考してください)
- 4 ID : PTZカメラのIDを確認して選択します。

複数のPTZカメラを並列に接続してIDを選択して各々のPTZカメラを制御することが出来ます。
(ふだんPTZカメラはID1がデフォルトです。)



1-4-3. PTZ機能



- 1** P/T/Zボタン：PTZカメラが接続されているチャンネルを選択します。(分割画面では動作しません。) システムのP/T/Zボタンを押すと画面にPTZ(CH1, SP:2)が表示されます。
- 2** 方向キー：システムの方向キーで上下左右を押すとカメラが移動します。
- 3** PRESET(プレセット)：設定した場所を番号として記憶してその番号を呼び出すと記憶した場所にカメラが移動します。

プレセットの設定

- ① P/T/Zモードで“PRESET”ボタンを押すと画面がPTZ(PRESET)MOVEに変更され、もう一度押すとPTZ(PRESET)SETに変更されます。記憶しておきたい画面位置に方向キーで移動してチャンネルボタン[4]を利用して任意の数字を入力するとその番号が設定されます。

❗ 10に設定：“+10”ボタンを押して“0”ボタンを押します。
11に設定：“+10”ボタンを押して“1”ボタンを押します。

- ② 複数の位置を設定して“PRESET”ボタンを押すと最初のPTZ(CH1, SP:2)に戻ります。もう一度押すとPTZ(PRESET)MOVEに移動してチャンネルボタンを利用して設定した番号を押すとカメラが設定した場所に移動します。

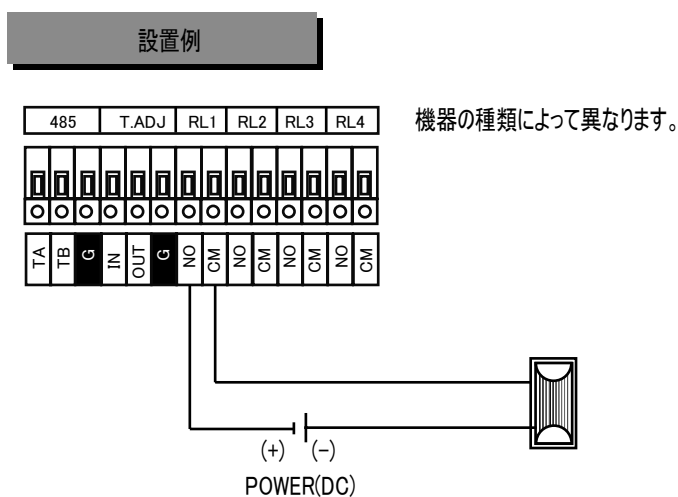
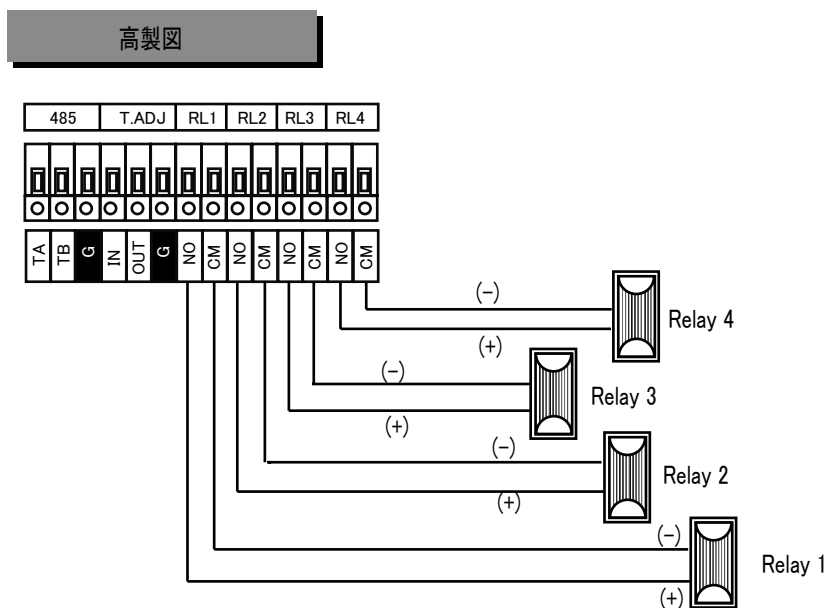
1-5. リレーの接続および使用法

システムは4個のリレーを支援しています。

リレーということはセンサービデオロス、動き検知などのイベントが発生した時に警報機のような周辺装置に信号を転送して使用者にお知らせする装置を意味します。

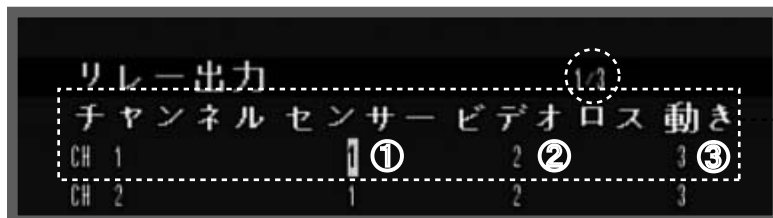
1-5-1. リレー接続方法

下図のように接続します。リレー電源は別途で入力します。



1-5-2. リレーの設定方法

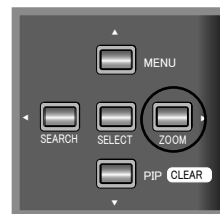
メニュー→イベント→リレー出力に入るとリレー出力を設定することができます。



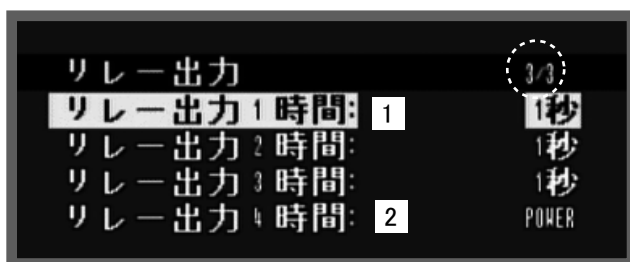
上図の説明

- ① センサーがチャンネル1に発生するとリレー1で出力します。
- ② ビデオロスはチャンネル1に発生するとリレー2で出力します。
- ③ 動きがチャンネル1に発生するとリレー3で出力します。

❗ リレー設定の“-”は使用しないという意味です。



[次のページへ移動]



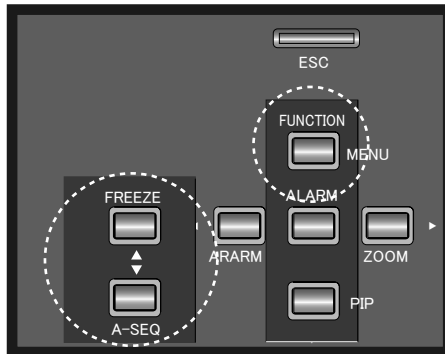
- 1** リレー出力の時間を設定します。
(設定時間：1秒～30秒)

- 2** リレー出力4の使用法：リレー4は別途の機能で使用できます。

- ① POWER：電源オンになるとリレーを出力
- ② HDD ERROR：HDDエラー発生するとリレーを出力
- ③ REC：録画時にリレーを出力
- ④ USER：使用者の任意でフロントキー（“FUNCTION” + “▲”または“▼”）を押してリレー出力をオン、オフすることができます。

使用者の制御方法

使用例として侵入者は発生した場合に部屋に電灯を点けたり、警報機を動かしたりすることが出来ます。

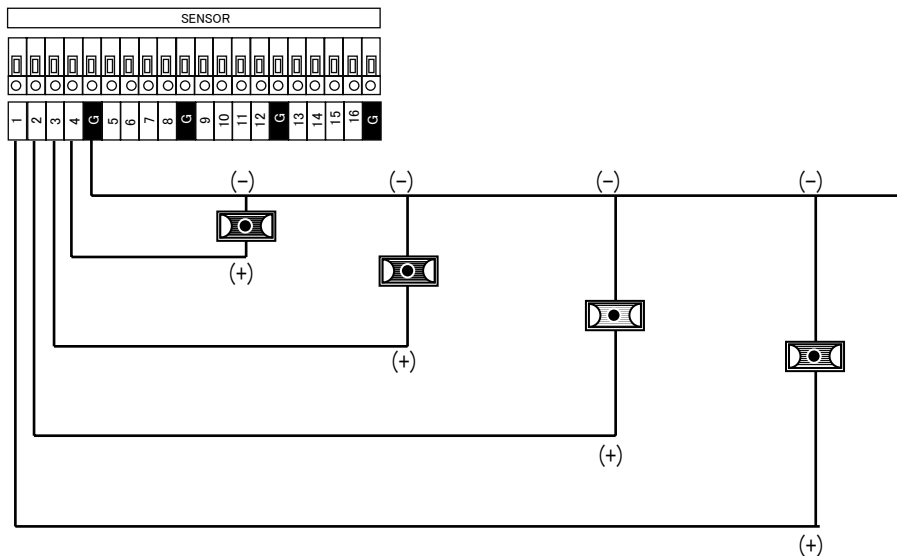


- ① リレー4 オン : FUNCTIONキーを押して▲ボタンを押します。
- ② リレー4 オフ : FUNCTIONキーを押して▼ボタンを押します。

❗ FUNCTIONボタンと▲または▼ボタンを同時に押してはいけません。

1-6. センサーの接続および使用法

16CHは16個のセンサー、8CHは8個のセンサー入力を支援します。
下図のように接続します。



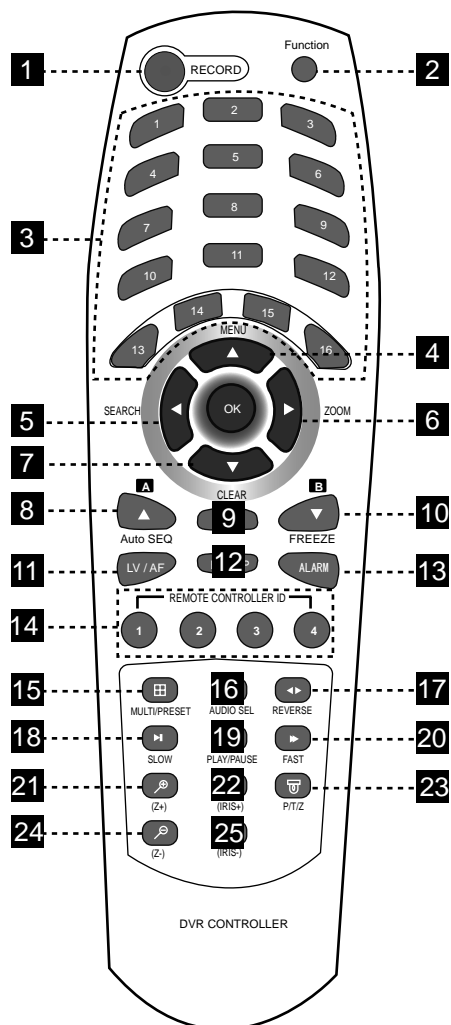
1-6-1. センサー入力(SENSOR INPUT)

センサー入力は16個まで支援します。(8CHは8個まで可能)

| センサー入力 | | 1/2 |
|---------|--------|----------|
| センサー 01 | 入力タイプ: | NOT USED |
| センサー 02 | 入力タイプ: | NOT USED |
| センサー 03 | 入力タイプ: | NOT USED |
| センサー 04 | 入力タイプ: | NOT USED |
| センサー 05 | 入力タイプ: | NOT USED |
| センサー 06 | 入力タイプ: | NOT USED |
| センサー 07 | 入力タイプ: | NOT USED |
| センサー 08 | 入力タイプ: | NOT USED |

入力タイプにはNORMAL OPENとNORMAL CLOSEがあります。

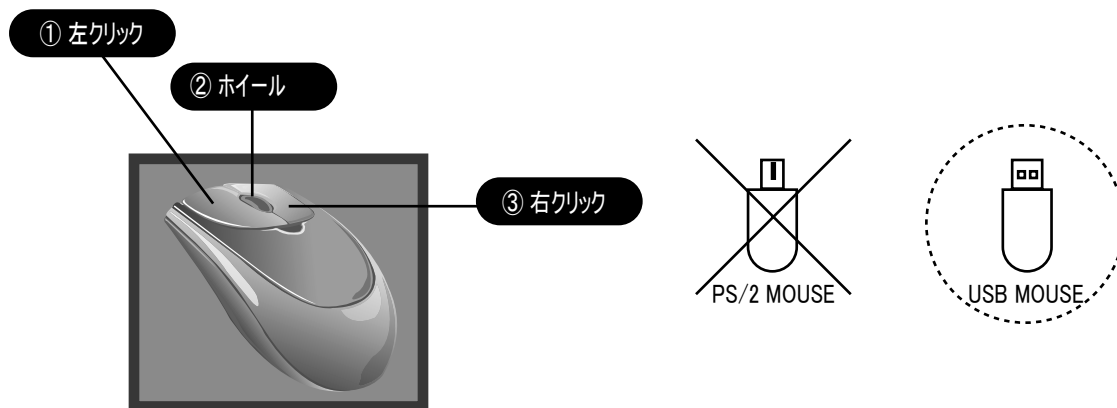
1-7. リモコンの使用法



- 1 イベント録画
- 2 Function : 別のキーとの組合せで別途の機能を制御
- 3 チャンネル選択
- 4 方向キーおよびメニュー
- 5 方向キーおよび検索
- 6 方向キーおよびライブ映像のズーム
- 7 方向キーおよびリピート設定の取消、PIP
- 8 シーケンス(自動順次切替)、メニューの設定値変更、再生リピート機能の“A”時点の設定
- 9 機能の取消および上位メニューに移動
- 10 ライブ画面のフリーズ
- 11 再生リピート機能の“B”時点の設定
- 12 バックアップメニュー
- 13 アラーム制御
- 14 リモコン ID の設定
- 15 ライブの画面分割モードの選択およびPTZモードのプリセット設定
- 16 音声チャンネルの選択
- 17 再生方向の選択(逆再生、一般再生)
- 18 スロー再生
- 19 再生または一時停止
- 20 早送り再生
- 21 PTZモードのズームイン
- 22 PTZモードのアイリス“+”に変更
- 23 PTZモード
- 24 PTZモードのズームアウト
- 25 PTZモードのアイリス“-”に変更

1-8. マウスの使用法

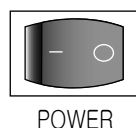
本製品は使用者の便利のためUSBタイプのマウスを支援します。(すべての操作を支援しているではありません。)



- ① 左クリック：アイコンまたは項目の上でダブルクリックすると項目の選択が可能、ライブ画面でシステムの“状態画面”に移動
- ② ホイール：設定値変更およびライブ画面から再生モードに変更
- ③ 右クリック：メニュー画面でダブルクリックすると以前のメニューに移動、ライブ画面でウオングリックするとメニュー画面に移動

1-9. ビデオタイプ(NTSC / PAL / AUTO)の設定

電源コードとマウスなどのデバイスを接続した状態で本体の電源を入れます。



- ① ビデオ入力信号(NTSC/PAL)は自動的に認識されます。
(カメラはNTSC/PALを同時に接続しないでください。)
- ② 停電が発生しても設定値は変わりません。
- ③ 電源を完全にオフするためには電源スイッチをオフにして正しいパスワードを入力しなければなりません。



電源を入れる前に必ずご確認下さい。

- * 電源オンの前に必ず入力電源の電圧の確認の上、製品の背面の電源切替スイッチを切替してご使用下さい。
- * 映像信号がない時にはNTSCで認識します。
電源オンしてPALモードで映像を入力する場合には電源をもう一度入れ直してください。

2. システムの基本使用方法

2-1. OSD表示の説明

2-2. 設定キーの使用法

2-3. ランプ表示の意味

2-4. ファン管理および交換方法

2-1. OSD表示の説明

2-1-1. 起動画面



電源オンするとロゴイメージと“LOADING...”というメッセージが表示されます。

2-1-2. FIRMWARE(ソフトウェア)の情報表示



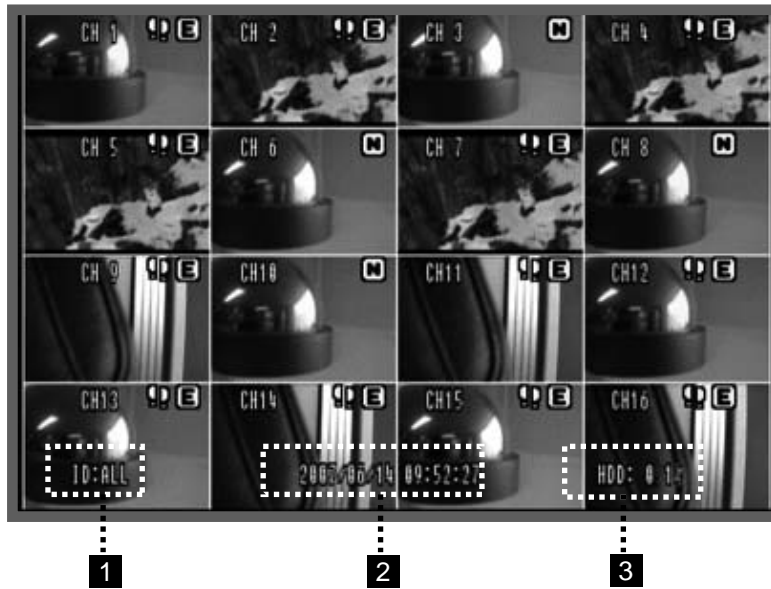
現在のF/Wバージョンを表示してシステムに異常がないかチェックします。



ライブ画面でシステムのフロントボタンの“SELECT” ボタンを押すとF/Wのバージョン、内蔵HDDの状態、ネットワーク情報などを確認することが出来ます。




2-1-3. ライブOSDの説明

ライブ画面のアイコンは現在のDVRの録画状態を表示します。






- 1 リモコンIDの表示
- 2 年・月・日の表示
- 3 HDDの残量の表示(80%の場合に保存可能な残量が80%残っていることを意味します。)






録画アイコン

-  イベント録画
-  NORMAL(常時)録画
-  強制スケジュール録画

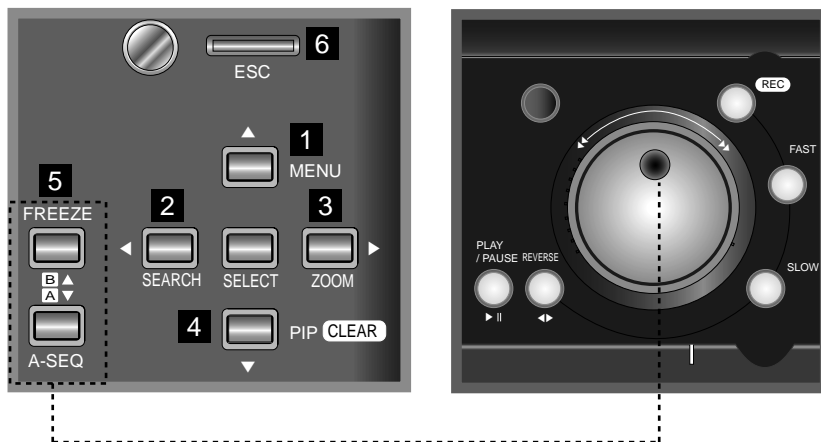
イベントアイコン

-  ビデオロス
-  モーション(動き)録画
-  センサー録画

二種アイコン

-   モーションによるイベント録画
-   センサーによるイベント録画
-  イベント録画のアイコンなしでモーション録画アイコンだけが表示されている場合にはモーションは検知したが録画はしていない状態を意味します。即ち、録画フレームが“0”の場合です。

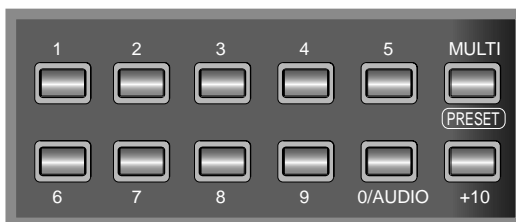
2-2. 設定キーの使用法



- 1 メニュー画面に移動します。メニューでは方向キーで使います。
- 2 検索画面に移動します。メニューでは方向キーで使います。
- 3 ライブ画面でズーム機能を行います。メニューでは方向キーで使います。
- 4 ライブ画面でPIP (Picture in Picture)機能を行います。メニューでは方向キーで使います。
- 5 メニュー画面で各項目の設定値を変更します。

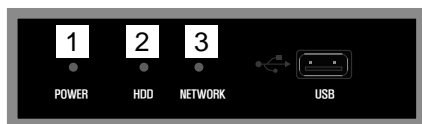
❗ 設定値を変更する時に設定値の範囲が大きい場合にはJOGを使用すると便利で速く設定値を変更することが出来ます。

チャンネルボタンの使用法



- 1 ~ 9 CH1-9までは該当ボタンを押します。
- 0 CH10は“0/AUDIO”ボタンを押します。
- +10 + 1 CH11-16までは最初に“+10”ボタンを押してから“1”ボタンを押すとCH11に移動します。
(※ 同時に押すことはありません。)

2-3. ランプ表示の意味



- 1** 電源オンすると“赤色”と“ピンク色”のランプが点滅してシステムが完全に立ち上がると“赤色”のランプが点灯します。
- 2** HDDが動作(録画、再生)すると“緑色”のランプが点滅します。
- 3** 遠隔からネットワーク接続すると“ピンク色”のランプが点滅します。

2-4. ファンの管理および交換方法

ファンの寿命は普通4年ほどで使用環境によって異なります。
ファンの異常が発生した時にはファンを交換しなければなりません。

ファンの管理方法

- ファンに異常音がする
=> ファンの回転数およびモーターに異常が発生するとファンに異常音がします。
- ファンにほこりがたまっている。
=> ファンにほこりがたまるとモーターが止まったり、空気の流れに邪魔になります。
- ファンに異常が発生するとシステムに“CHECK FAN IN DVR”のメッセージが表示されブザー音が鳴ります。
=> 実際にファンに異常があるかどうかを確認して異常があったらファンを交換します。

ファンの交換

ファンの故障によって本体に障害が発生した場合には販売店あるいは設置者に要請してファンを交換しなければなりません。
使用者が直接ファンを交換してショットなどが発生したりしてシステムに異常が発生しないようご注意ください。

3. システムの設定

3-1. 録画設定のご注意

3-2. メニューの呼出

3-2. 簡単設定

3-3. 録画設定

3-4. 画面表示

3-5. イベント

3-6. システム

3-7. ネットワーク

3-1. 録画設定のご注意

3-1-1. 録画の優先順位

様々な録画設定がありますのでシステムに優先順位が決まっています。

① 強制スケジュール録画 > ② 簡単録画 > ③ スケジュール録画

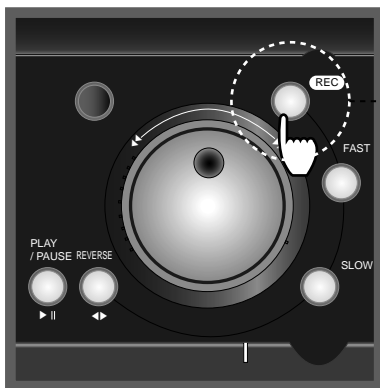
優先順位ということは例えば簡単録画で録画してきて任意の時間帯に強制スケジュール録画が設定されていたら簡単録画の設定を無視して強制スケジュール録画の設定によって録画設定が変更されることを意味します。

3-1-2. デフォルトは常時録画の状態

このシステムは使用者の間違いまたは誤動作による録画中止の状況を防止するためにどんな状況でも録画し続けるように設計されています。



システムに電源を入れると自動的にイベント録画が始まります。
フロントの“REC”ボタンは常時録画ボタンで使用者に従って常時録画をオフすることが出来ます。
(イベント録画も中止するためにはイベント録画フレームを“0 FRAME”に設定するとイベントが発生しても録画しません。



常時録画ボタン

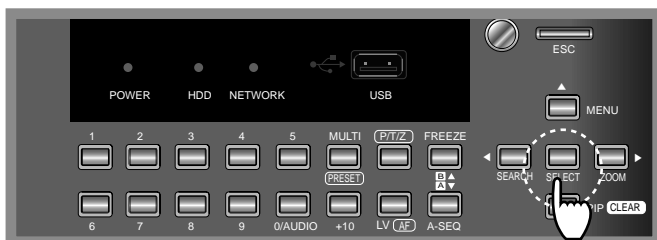
3-1-3. 常時録画とイベント録画の差異

常時録画ということは常に録画していることを意味します。

イベント録画ということは動き検知またはセンサーなどのイベントによって録画することを意味します。

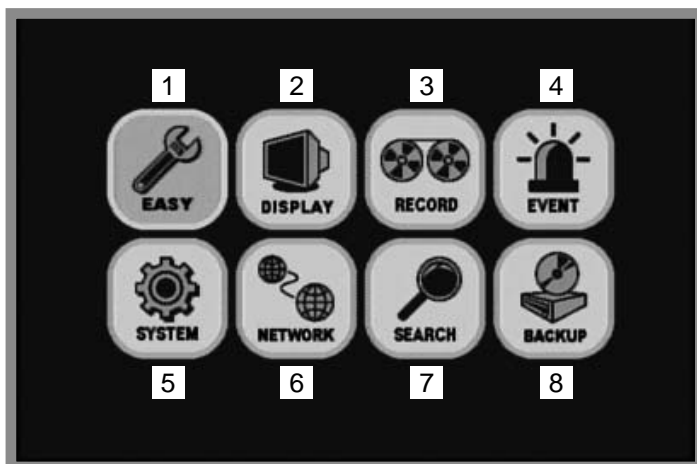
このシステムはふだんは2-3フレームで常時録画をしていてイベントが発生したら録画速度を上げ、10フレームで録画することが出来ますので、HDDの用量を節減して大事な映像をより高い画質とフレームで保存することが出来ます。

3-2. メニューの呼出



フロントカバーを開けた状態で“MENU”ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

メニューの構成

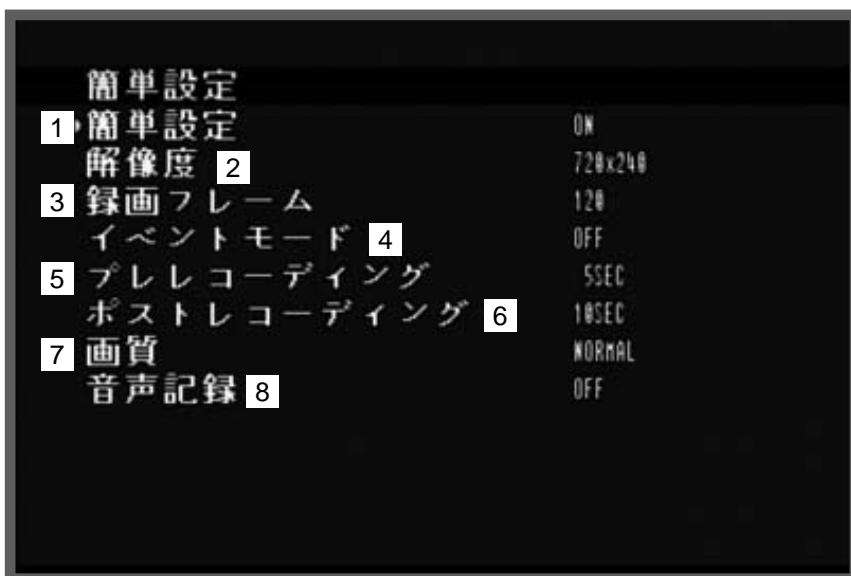


- 1** EASY : 簡単録画設定
- 2** DISPLAY : 画面表示設定
- 3** RECORD : 録画および録画スケジュール設定
- 4** EVENT : センサーおよび動き検知などのイベント設定
- 5** SYSTEM : HDD管理、パスワード、工場初期化などのシステム設定
- 6** NETWORK : ネットワーク設定
- 7** SEARCH : 様々な検索モード設定
- 8** BACKUP : バックアップ設定

3-2. 簡単設定

チャンネル別ではなく全チャンネルに対する録画設定を行います。

❗ スケジュール録画よりは録画優先順位が高くて強制スケジュール録画よりは録画優先順位が低いです。日付と関係なく設定通り引き続き録画します。






- 1 簡単設定：使用可否を選択します。
① ON：使用する ② OFF：使用しない
- 2 解像度：録画解像度を設定します。
- 3 録画フレーム：録画速度を設定します。
- 4 イベントモード：イベント種類を選択します。
① OFF：イベント録画をしません(基本的に電源を入れるとイベント録画が始まりますが、オフを選択するとイベント録画を行いません。)
② ALARM(アラーム)：アラームが発生した場合にイベント録画を行います。
③ V-LOSS(ビデオロス)：ビデオロスが発生した場合にイベント録画を行います。
④ MOTION(動き)：動きが発生した場合にイベント録画を行います。
⑤ ALARM & LOSS：アラームまたはビデオロスが発生した場合にイベント録画を行います。
⑥ ALARM & MOTION：アラームまたは動きが発生した場合にイベント録画を行います。
⑦ LOSS & MOTION：ビデオロスまたは動きが発生した場合にイベント録画を行います。
⑧ ALL：すべてのイベントに対してイベント録画を行います。
- 5 プレレコーディング：イベントが発生する前の設定した時間から録画が始まります。(0秒～5秒)
- 6 ポストレコーディング：イベントが発生した後の設定した時間まで録画します。(0秒～60秒)
- 7 画質：録画画質を選択します。(画質によって保存用量が異なります。)
LOW < NORMAL < HIGH
- 8 音声記録：音声録画可否を選択します。(ON：1～4CHを音声記録します。)

3-3. 録画設定

3-3-1. 記録プログラム

| REC PROGRAM | SCHEDULED | 1 | | | | | 1/2 | 2 | |
|-------------|------------|------------------|-------|---------|------------|----------|------|------|----|
| CH | RESOLUTION | NORMAL | EVENT | QUALITY | EVENT TYPE | PRE/POST | 8 | | |
| 1 | 720x240 | 4 | 5 | 6 | - | 7 | 8 | | |
| 2 | 720x240 | 8fps | 8fps | N/N | - - - | 5/10 | | | |
| 3 | 720x240 | 8fps | 8fps | N/N | - - - | 5/10 | | | |
| 4 | 720x240 | 8fps | 8fps | N/N | - - - | 5/10 | | | |
| 5 | 720x240 | 7fps | 7fps | N/N | - - - | 5/10 | | | |
| 6 | 720x240 | 7fps | 7fps | N/N | - - - | 5/10 | | | |
| 7 | 720x240 | 7fps | 7fps | N/N | - - - | 5/10 | | | |
| 8 | 720x240 | 7fps | 7fps | N/N | - - - | 5/10 | | | |
| 1-8CH TOTAL | | 60FRAME IS LIMIT | | | 9 | | | | |
| | | | | | | | PREV | NEXT | 10 |


- 1** スケジュール(SCHEDULE)番号：下のチャンネル別の様々な録画設定をスケジュール0に保存します。

設定値の変更キーまたはJOGでスケジュール番号の変更が出来ます。
スケジュールは0-9番まであります。
曜日別に様々なスケジュールで録画することが出来ます。

- 2** ページ番号：16CHの場合、8CHずつ区分して2ページになります。

- 3** 解像度(RESOLUTION)：録画解像度を設定します。(720 X 480, 720 X 240, 360 X 240)

 解像度が高くなるとCH当りの録画フレームは減ります。

| RESOLUTION | | FDS-1620M | FDS-820M |
|------------|-----------|-----------|----------|
| NTSC | 720 X 480 | 60 fps | 60 fps |
| | 720 X 240 | 120 fps | 120 fps |
| | 360 X 240 | 240 fps | 240 fps |
| PAL | 720 X 576 | 50 fps | 50 fps |
| | 720 X 288 | 100 fps | 100 fps |
| | 360 X 288 | 200 fps | 200 fps |

- 4 常時(NORMAL)録画フレームの設定：常時録画のフレームを設定します。
常時録画ということはイベント(動き検知、センサー、ビデオロス)と関係なく常に録画することを意味します。

! 解像度720 X 480, 720 X 240モードではCH別フレームの調整が出来ますが、
360 X 240モードでは2CHずつフレームを調整します。

| CH | RESOLUTION | NORMAL | EVENT |
|----|------------|--------|-------|
| 1 | 720x240 | 8fps | 8fps |
| 2 | 720x240 | 8fps | 8fps |

(解像度 : 720X480, 720X240)

| CH | RESOLUTION | NORMAL | EVENT |
|----|------------|--------|-------|
| 1 | 360x240 | 8fps | 8fps |
| 2 | 360x240 | | |

(解像度 : 360 X 240)

- 5 イベント(EVENT)録画フレームの設定：動き検知、センサー、ビデオロスが発生する場合の録画フレームを設定します。
- 6 画質(QUALITY)：録画画質はHIGH > NORMAL > LOWがあって画質が良ければ良いほど保存可能時間は短くなります。



- 7 イベントタイプ(EVENT TYPE)：選択したイベントが発生すると録画を始めます。イベントのタイプを選択することが出来ます。



使用例

- ① S L M：センサー、ビデオロス、動きが発生するとイベント録画を開始します。
- ② S - -：センサーが発生するとイベント録画を開始します。
- ③ - L -：ビデオロスが発生するとイベント録画を開始します。
- ④ - - M：動きが発生するとイベント録画を開始します。

- 8 プレ/ポスト録画：イベント発生する前の映像(PRE)とイベント発生した後の映像(POST)の録画時間を設定します。

! PRE/POSTとは!
侵入者が部屋に入る瞬間からイベントが発生しますが、その前の映像をDVRが任意で保存しておいて
プレコーディングを5秒に設定するとイベントが発生する5秒前の映像からHDDに保存されます。
また逆に侵入者が部屋から出た瞬間からイベントは終了されますが、ポストコーディングを60秒に
設定するとイベントが終了してから60秒の映像をHDDに保存します。

9 解像度によって設定できるフレームが決まっています。設定できるフレームは下記のとおりです。

| RESOLUTION | | FDS-1620M | FDS-820M |
|------------|-----------|-----------|----------|
| NTSC | 720 X 480 | 60 fps | 60 fps |
| | 720 X 240 | 120 fps | 120 fps |
| | 360 X 240 | 240 fps | 240 fps |
| PAL | 720 X 576 | 50 fps | 50 fps |
| | 720 X 288 | 100 fps | 100 fps |
| | 360 X 288 | 200 fps | 200 fps |

! [設定画面の説明]

| CH | RESOLUTION | NORMAL | EVENT | QUALITY | EVENT TYPE | PRE/POST |
|-------------|------------|------------------|-------|---------|------------|----------|
| 1 | 720x240 | 5fps | 8fps | N/N | S L M | 5/10 |
| 8 | 720x240 | 5fps | 6fps | N/N | S L M | 5/10 |
| 1-8CH TOTAL | | 60FRAME IS LIMIT | | | | |

- ① 録画解像度は720 X 240に設定しました。
- ② 普段は5フレームで画質は普通(NORMAL)で録画します。
- ③ CH1の場合、センサー(S)、ビデオロス(L)、動き検知(M)の時に8フレームで録画します。
画質はNORMALでイベントが発生する5秒前からイベントが終了した後10秒まで録画をします。
- ④ “1-8CH TOTAL 60FRAME IS LIMIT” ということは解像度720X240モードでは1CH-8CHまで60フレームを超えることは出来ないという意味です。

10 マウスを使用すると前のページまたは次のページに移動します。

3-3-2. 録画設定(SCHEDULE RECORDING)

録画設定では月曜日から日曜日まで曜日別、時間別の録画設定を行います。

| REC PROGRAM | SCHEDULED | | |
|-------------|------------|--------|-------|
| CH | RESOLUTION | NORMAL | EVENT |
| 1 | 720x240 | 8fps | 8fps |

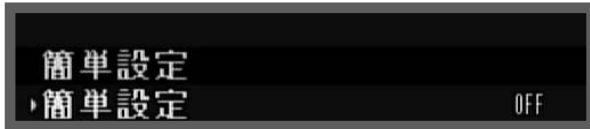
① スケジュール番号を選択します。
(左図はスケジュール0番に設定)



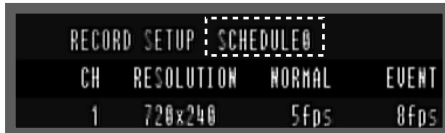
| 録画設定 | | |
|------|-------|---|
| プロ: | 電源オフ: | スケ |
| DATE | ALL | 0 3 6 9 12 |
| 月 | 0 | 0 |
| 火 | 0 | 0 |

② 録画設定で曜日別、時間別のスケジュール番号を指定します。

❗ [スケジュール録画の方法]



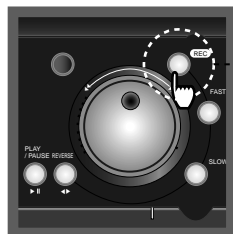
① 簡単設定を "OFF" に設定すると自動的にスケジュール録画が始まります。



② 記録プログラム(RECORD SETUP)でスケジュール番号を選択し設定を行います。



③ 録画設定で曜日別、時間別のスケジュール番号を設定します。
月曜日の場合に3時にはスケジュール4番、4時にはスケジュール5番で録画します。
5時になればシステムがシャットダウンされ7時になれば自動に起動されてスケジュール0番で録画します。
※ ALLは全時間を同じスケジュール番号に変更する時に使用します。



--- 常時録画ボタン

④ 本製品は常にイベント録画をしている製品です。
スケジュール録画中でもフロントの常時録画ボタン“REC”を押すと常時録画が中止になります。

3-3-4. 画質 (QUALITY)

画質をチェックするためには必ず“録画”を中止しなければなりません。
現在入力されている映像をHDDに何日間保存できるかを確認することが出来ます。



録画を止める方法

- ① 強制スケジュール録画を解除します。
- ② 簡単設定で簡単設定をオフにしてイベントモードをオフにします。
- ③ フロントの“REC”ボタンを押して常時録画をオフするとすべての録画が中止されます。



1 画質を選択します。(LOW / NORMAL / HIGH)

2 サイズ: 現在チャンネルのGOP単位(15枚)の平均用量を表示します。

IMAGE SIZE: 4256 BYTES HDD FREE/TOTAL: 207188 / 347849 MB

↓ ↓ ↓

GOP単位(15枚)の平均用量 現在録画可能なHDD用量 全体HDD用量

3 現在のHDD用量に録画できる時間を表示

記録: 6 - DAY 18 - HOUR 0 - MIN

↓ ↓ ↓

録画できる日付 録画できる時間 録画できる分

4 全体HDD用量による録画可能時間を表示

合計: 11 - DAY 8 - HOUR 0 - MIN

↓ ↓ ↓

録画できる日付 録画できる時間 録画できる分

3-3-5. 音声記録(AUDIO RECORD)

音声記録の可否を設定します。

音声は1CH-4CHを支援します。



使用可否によってオンまたはオフに設定します。

3-3-6. 上書き(OVERWRITE)

HDD用量がフルになる場合に録画を止めるか上書きするかを選択します。



1 上書き : HDDがフルになって上書きするかどうかを設定することができます。

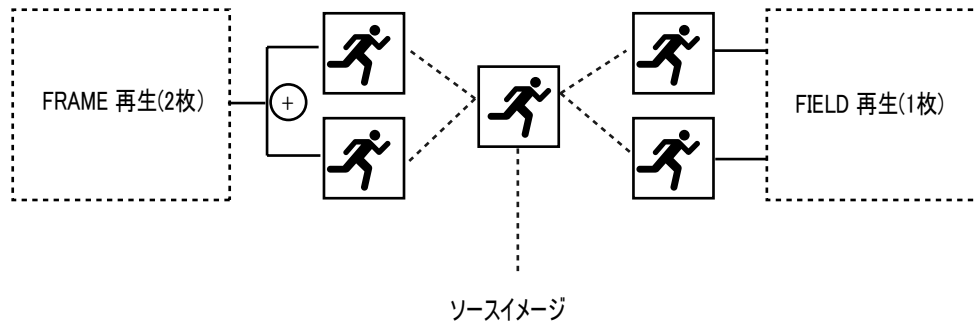
2 上書きアラーム : HDDの残量をチェックしてブザーを鳴らすことができます。

① OFF : ブザーなし

② 1% ~ 10% : HDD残量が設定した%になるとブザーが鳴ります。

3-3-7. 検索モード(PLAYBACK MODE)

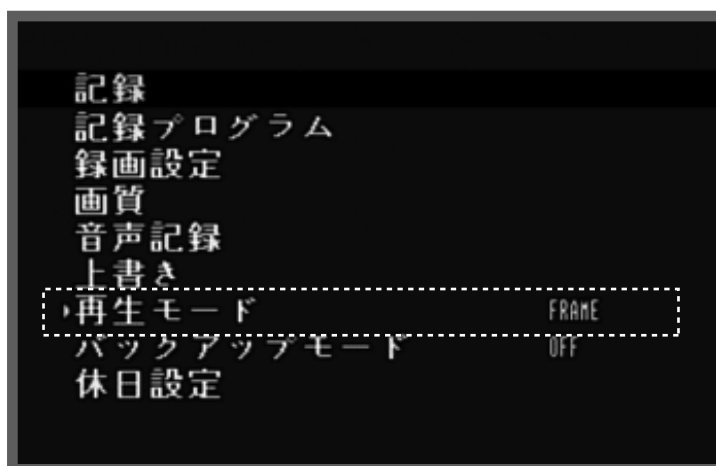
録画した映像を再生します。再生モードは二つあります。



フレーム(FRAME)再生は2枚のイメージで構成されます。画質はフィールドより鮮明ですが、動きが速いイメージの場合には再生画面が乱れる可能性があります。

フィールド(FIELD)再生はフレーム2枚のイメージを1枚に合わせます。画質はフレームより落ちますが、映像の動きが自然です。

* 出荷時のデフォルトはフレーム(FRAME)です。



- ① FRAME : FRAME方式で再生します。
- ② FIELD : FIELD方式で再生します。

3-3-8. バックアップモード (BACKUP MODE)

バックアップモードにはミラーリングとイベントがあります。



1 バックアップモードを選択します。

① OFF : 使用しない

② MIRROR : ミラーリングモード

=> メインHDDと同じ映像をMIRRORに設定したHDDに同時間に保存します。

③ EVENT : イベントバックアップモード

=> イベント映像だけを別途のバックアップHDDに保存します。



The screenshot shows the 'HDD設定' (HDD Settings) menu. It contains a table with the following data:

| HDD | モード | 容量 |
|-------|--------|-----------|
| 内蔵-01 | MAIN | 190782 MB |
| 内蔵-02 | BACKUP | 157066 MB |
| 内蔵-03 | NO HDD | 0 MB |
| 内蔵-04 | NO HDD | 0 MB |

2 SYSTEM (システム)メニューの“HDD設定”でHDDのモードをメイン(MAIN)にするかバックアップ(BACKUP)にするか選択することが出来ます。

- MAIN : 一般の録画データを保存します。

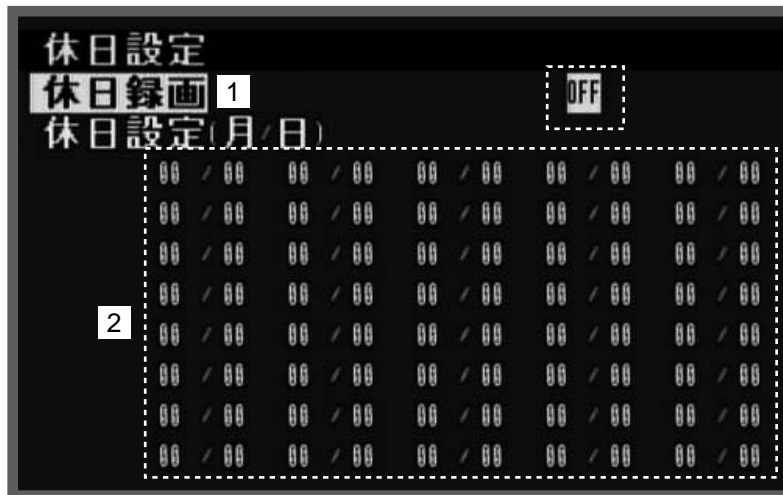
- BACKUP : 1番のバックアップモードをイベントにしたからHDD設定のモードをバックアップにするとイベント映像だけ保存されます。



HDD BAY (外付けHDD)が接続されているとHDD設定の外付けHDDメニューでも外付けHDDのモード設定が出来ます。

3-3-9. 休日設定 (HOLIDAY)

休日を指定するとその日は録画設定メニューの日曜日のスケジュールで録画を行います。



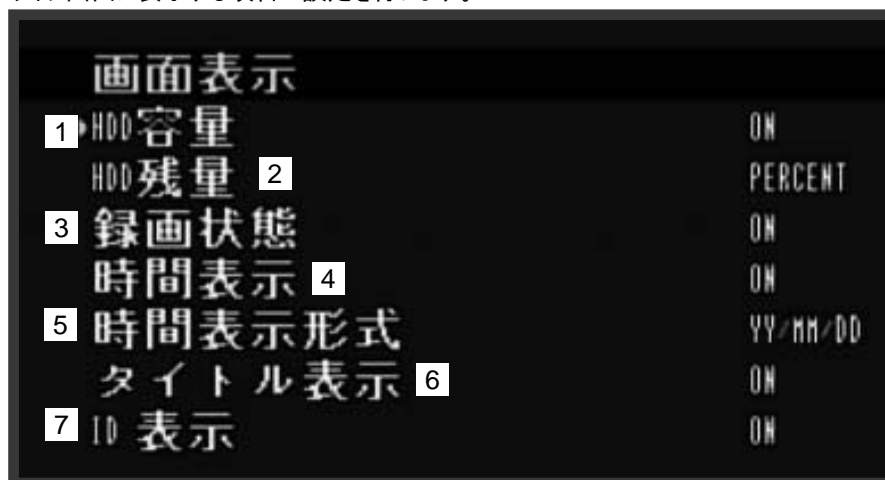
- ① ON /OFF : スケジュールの使用可否を選択します。
- ② 休日の日付を設定します。



例えば、毎週火曜日を全部休日で登録したら火曜日にはスケジュール0で録画しなくて日曜日のスケジュールであるスケジュール7で録画します。

3-4. 画面表示(DISPLAY)

ライブ画面に表示する項目の設定を行います。






1 HDD容量：ライブ画面にHDD残量表示を選択することができます。

2 HDD残量：HDD残量の単位を選択します。


- ① PERCENT：％で表示
- ② GIGABYTE：GBで表示

3 録画状態：録画状態のアイコンを表示します。

録画アイコン

-  イベント録画
-  常時録画
-  強制スケジュール録画

イベントアイコン

-  ビデオロス
-  動き検知
-  センサー

4 時間表示：現時の時間を表示します。

5 時間表示形式：日付の表示形式を選択します。

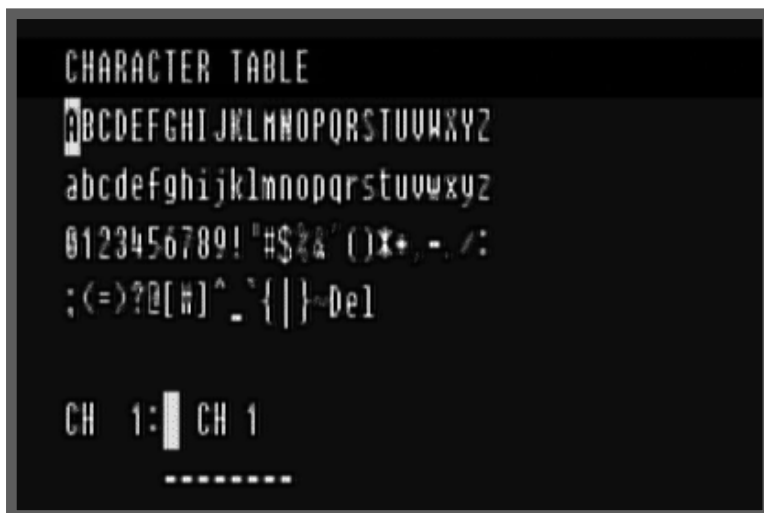
- ① ASIA：YY/MM/DD → 2007/05/25
- ② US：MM/DD/YY → 05/25/2007
- ③ EURO：DD/MM/YY → 25/05/2007

6 タイトル表示：カメラ名を表示します。

7 ID表示：リモコンIDを表示します。

3-4-1. タイトル表示(CHARACTER TABLE)

ライブにカメラ名を表示します。



- ① チャンネルを選択します。
- ② “DEL”を利用して全部削除してから入力します。

❗ カメラ名は英語だけを支援します。

3-4-2. 分割画面 (MULTI SCREEN)

画面分割モードを選択することができます。



モードは4分割、7分割、9分割、13分割、16分割があります。
シーケンスモード(自動順次切替)では各モード別の時間設定が出来ます。(8CHは 4分割, 7分割を支援)

(4分割の場合)



- 1** 4分割モードの使用可否を選択
① ON: 使用する
② OFF: 使用しない(フロントの“MULTI”ボタンを押しても、シーケンスモードでも4分割モードは表示されません。)

- 2** 4分割モードのチャンネルを選択
4分割モードで表示するチャンネルを設定することができます。

❗ 同じチャンネルは設定できません。

3-4-3. ブラインド(BLIND)

ライブ画面で出力したくない映像を選択することができます。選択した画面は録画はしていますが、ライブ画面には表示されません。



- 1 ON/OFFを設定します。

❗ オンにしたチャンネルは録画をオフしない限りHDDに保存されます。

- 2 ブラインドモード：ブラインドするモードを設定します。

- ① LV & PB & NW：ライブ、再生、ネットワークで映像が見えません。
- ② LIVE：ライブで映像が見えません。
- ③ PLAY：再生で映像が見えません。
- ④ NETWORK：ネットワークで映像が見えません。
- ⑤ LV & PB：ライブ、再生で映像が見えません。
- ⑥ LV & NW：ライブ、ネットワークで映像が見えません。
- ⑥ PB & NW：再生とネットワークで映像が見えません。

❗ BLIND(or COVERT)とは？
録画は必要ですが公共場所なので画面が見えてはいけない場所、
あるいはお店の店員には画面を見せたくない場合などに使用します。

3-4-4. スポット(SPOT)

別途のモニターを利用して設定したチャンネルを監視することが出来ます。

| スポット | | 1/2 |
|---------|------|----------|
| スポットモード | | SEQUENCE |
| 1 | CH 1 | 3秒 |
| | CH 2 | 3秒 |
| | CH 3 | 3秒 |
| | CH 4 | 3秒 |
| 2 | CH 5 | 3秒 |
| | CH 6 | 3秒 |
| | CH 7 | 3秒 |
| | CH 8 | 3秒 |

- 1 スポットモード：
- ① SEQUENCE：シーケンス(自動順次切替)モードで映像が出力されます。
 - ② EVENT：イベントが発生すると映像が出力されます。
- 2 チャンネル別に使用可否と出力時間を設定します。
- ① 0 SEC：映像出力なし
 - ② 1~60SEC：設定した時間を出力します。

3-4-5. カメラ(CAMERA)

カメラの明るさ、コントラスト、色調、彩度を調整します。



- 1** CHANNEL : 調整するチャンネルを選択します。
- 2** BRIGHTNESS : 明るさを調整します。
- 3** CONTRAST : コントラストを調整します。
- 4** HUE : 色調を調整します。
- 5** SATURATION : 彩度を調整します。

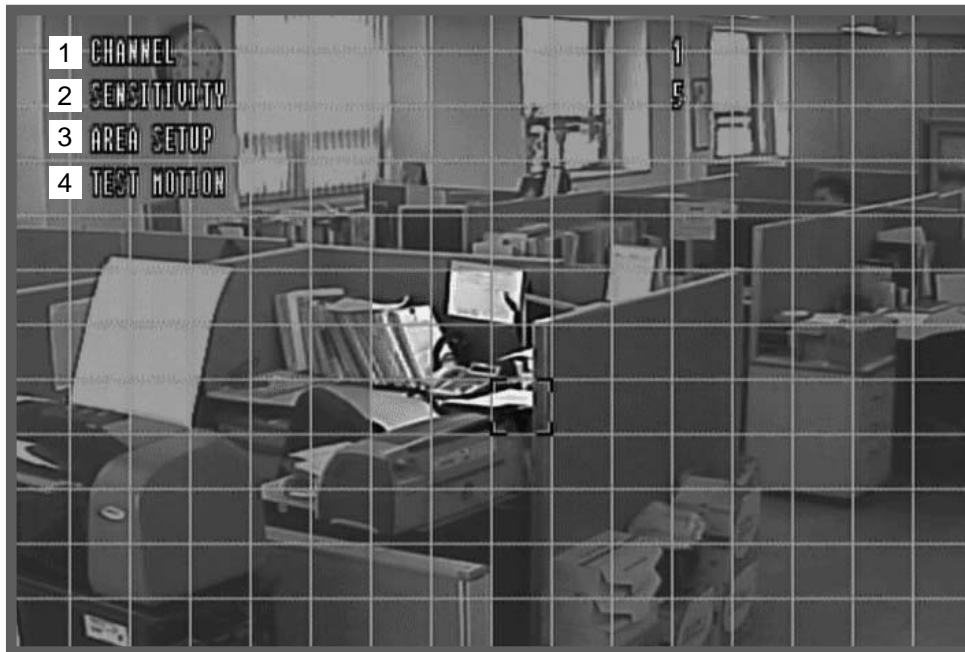
! 画面を明るくすると動き検知の感度が敏感に反応する可能性があります。

3-5. イベント (EVENT)

動き検知、センサー、リレー出力などを設定します。

3-5-1. 動き検知(MOTION DETECTION)

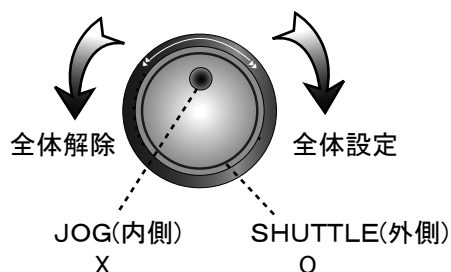
画面に動きが検知されるとシステムはイベントが発生したと認識してイベント録画を始めます。



- 1 CHANNEL : 動き検知を設定するチャンネルを選択します。
- 2 SENSITIVITY : 感度を設定します。(鈍感 1 < 5 敏感)
- 3 AREA SETUP : エリアを設定します。

* 設定方法

1. デフォルトは全エリアが動き検知のエリアで設定されています。
 - 設定オン: 透明
 - 設定オフ: “緑色”で表示
2. エリアを解除したいところに移動して“SELECT”ボタンを押すと選択したところが“緑色”になります。



- 4 TEST MOTION : 動き検知をテストします。

3-5-2. イベント画面出力モード(EVENT SCREEN MODE)

イベントが発生した画面をポップアップしてフル画面にするからイベントが発生したことが分かりやすくなります。

- ① OFF : 現状を維持 (変化なし)
- ② FULL SCREEN : イベントが発生したチャンネルをフル画面で表示
- ③ フル画面は“イベント表示時間(MESSAGE DWELL TIME)”で設定した時間の間に表示されてイベントが終わると以前の分割画面に戻ります。

3-5-3. イベント録画 (EVENT RECORD)

このシステムは“REC”ボタンを押すと録画が始まります。

“EVENT RECORD”をオフするとイベントが発生しても“NORMAL(常時)”録画をします。

3-5-4. イベント表示時間 (MESSAGE DWELL TIME)

イベントが発生する場合に、

ライブ画面のイベントアイコンの表示時間と“イベント画面出力モード(EVENT SCREEN MODE)”のフル画面の表示時間に適用されます。

3-5-5. イベントブザー(EVENT BEEP)

イベントが発生する場合にブザー音を設定します。

3-6. SYSTEM (システム)

システムの運営に必要なHDD設定、パスワード設定、設定初期化、アップグレードなどを設定します。

3-6-1. HDD設定(HDD CONFIGURATION)

HDD DISKの使用モードおよびフォーマットなどの設定を行います。

| HDD | モード | 容量 |
|-------|--------|-----------|
| 内蔵-01 | MAIN | 190782 MB |
| 内蔵-02 | MAIN | 157066 MB |
| 内蔵-03 | NO HDD | 0 MB |
| 内蔵-04 | NO HDD | 0 MB |

2 外付け
メインHDDフォーマット 3
バックアップHDDフォーマット 4



| 外付け | モード | 容量 |
|-------|--------|------|
| 外部-00 | NO HDD | 0 MB |
| 外部-01 | NO HDD | 0 MB |

1 内蔵HDD“モード”を設定します。

① MAIN : 録画用のHDDで使用する場合に選択します。

② BACKUP : バックアップ用のHDDで使用する場合に選択します。

バックアップの用度設定は録画設定メニューのバックアップモードで選択することが出来ます。(OFF、MIRROR、EVENT)

| 記録 | |
|-----------|-------|
| バックアップモード | EVENT |
| 休日設定 | |

2 外付けHDDが装着されている場合にも40個のHDDをそれぞれのモードで設定することが出来ます。

3 メインHDDフォーマット : メインHDDをフォーマットします。

4 バックアップHDDフォーマット : モードがバックアップに設定されているHDDをフォーマットします。

3-6-2. 時間設定 (TIME)

システムの時間を設定します。

3-6-2-1. 日付/時間設定 (DATE / TIME SETUP)



現在の時間を直接入力します。

3-6-2-2. インターネット時間 (INTERNET TIME)



- 1 時間シンクロ: タイムサーバーの使用可否を設定します。
- 2 タイムサーバー選択: タイムサーバーのURLまたはIPを入力します。
- 3 タイムゾーン選択: 日本はGMT+09:00です。
- 4 サマータイム: サマータイムを適用している国で使う機能です。

3-6-3. ビデオ形式 (VIDEO STANDARD)

ビデオ入力のソースタイプを選択します。(デフォルト : AUTO)

- ① PAL : ビデオ入力方式がPALの場合。
- ② NTSC : ビデオ入力方式がNTSCの場合(日本)。
- ③ AUTO : システムに入力した映像を自動的に認識します。



映像信号がない場合にはNTSCで認識します。電源を入れてPALモードで映像を入力する場合にはシステムはNTSCで認識しますので、システムを再起動してください。

3-6-4. 言語(LANGUAGE)

使用者の国の言語を選択します、

3-6-5. ID リモコン (REMOTE CONTROLL ID)

一つのリモコンで複数のシステムの制御が出来ます。

システム別に異なるリモコンIDを設定してリモコンIDを変更して各々のシステムを制御します。

- ① 本体のリモコンIDの設定 : リモコンのID設定は“1,2,3,4”の四つの数字を使用します。
例えば ALL, 11, 12, 13, 14, 21, 22, 23, 24, 31, 32, 33, 34, 41, 42, 43, 44が設定できます。
- ② リモコンの使用 : リモコンに ID1, ID2, ID3, ID4のキーを利用して本体に設定したIDを押すと接続されたというメッセージが出ます。

3-6-6. ブザー(KEP BEEP)

フロントのキーブザー音を設定します。

3-6-7. 使用者権限(SUPERVISOR SETUP)

管理者のパスワードおよびユーザーのシステム捜査権限を設定することが出来ます。

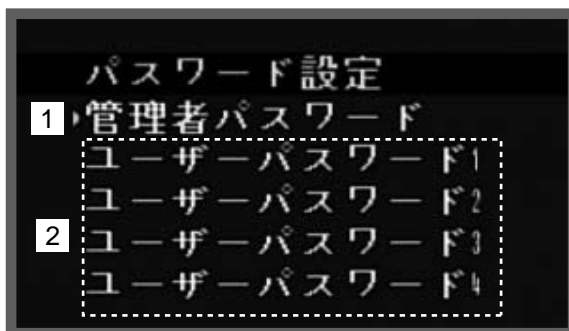
3-6-7-1. パスワード確認(PASSWORD CHECK)

パスワードをチェックするように設定するとすべてのメニュー設定に対してパスワードを確認します。
15秒以内には確認しません。

❗ パスワードのデフォルトは“11111111”です。

3-6-7-2. パスワード設定(SET PASSWORD)

管理者1人とユーザー4人のパスワードを登録することが出来ます。



1 管理者パスワード：システム操作のすべての権限を持っています。

2 ユーザーパスワード：使用者パスワードで4人まで登録することが出来ます。

3-6-7-3. ユーザー権限(USER AUTHORITY)

| ユーザー権限 | | U1 | U2 | U3 | U4 |
|--------|---|-----|-----|-----|-----|
| 権限 | | | | | |
| 録画 | 1 | OFF | OFF | OFF | OFF |
| 検索 | 2 | OFF | OFF | OFF | OFF |
| バックアップ | 3 | OFF | OFF | OFF | OFF |
| ライブ音声 | 4 | OFF | OFF | OFF | OFF |
| メニュー | 5 | OFF | OFF | OFF | OFF |
| 状態表示 | 6 | OFF | OFF | OFF | OFF |
| PTZ制御 | 7 | OFF | OFF | OFF | OFF |
| 電源オフ | 8 | OFF | OFF | OFF | OFF |

- 1 録画：録画の使用可否を設定します。
- 2 検索：検索の使用可否を設定します。
- 3 バックアップ：バックアップの使用可否を設定します。
- 4 ライブ音声：ライブ画面の音声の使用可否を設定します。
- 5 メニュー：メニュー設定の使用可否を設定します。
- 6 状態表示：システムの状態情報表示の使用可否を設定します。
- 7 PTZ制御：PTZ制御の使用可否を設定します。
- 8 電源オフ：電源のON/OFFの使用可否を設定します。

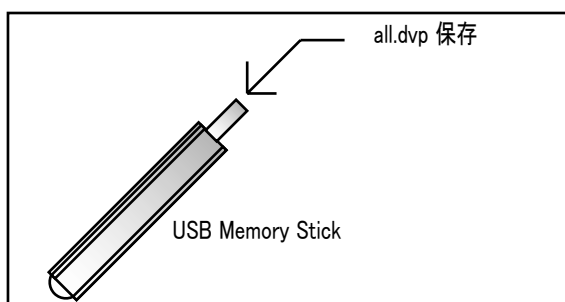
3-6-8. 工場初期化(FACTORY DEFAULT)

すべての設定が工場出荷の時のデフォルトに戻ります。
録画データは削除されません。

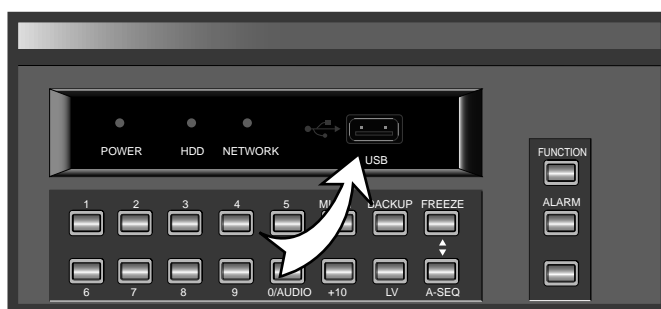
3-6-9. F/Wアップグレード(FIRMWARE UPGRADE)

製品の機能追加によってソフトウェアのアップグレードが必要な場合に使用します。

- 1 USBメモリースティックにF/Wファイルを保存します。



- 2 USBメモリースティックをシステムの前面部のUSBポートに挿入します。



- 3 メニューのシステムのF/Wアップグレードを選択すると“FIRMWARE UPGRADE FROM USB?”というメッセージが表示されます。“YES”を選択します。
- 4 アップグレードが正常に完了されるとシステムを必ず再起動しなければなりません。

3-7. ネットワーク(NETWORK)

遠隔地からシステムのメニューを設定したり録画データをバックアップしたりライブ映像をモニタリングすることが出来ます。

使用者のインターネット環境がダイナミックIP (DHCP)か固定IPかを確認します。
インターネットプロバイダーに確認できます。

❗ ダイナミックIPと固定IP!

- ・ダイナミックIP：固定のIPアドレスではないので外部から接続するためにはシステムのメーカーの別途のサーバーを使用しなければなりません。
(ルーターのポートとシステムのポートを合わせなければなりません。
ルーターのマニュアルをご参考下さい。
- ・固定IP：固有のIPアドレスなので別途のサーバーなしで接続が出来ます。

3-7-1. ネットワーク



1 * DHCP

ダイナミックIP

DHCPサーバーがあってIPが変わっても遠隔地からシステムにインターネットで接続することができます。

❗ ダイナミックIPの使用者はDHCPを“ON”に設定します。

固定IP

固有のIPアドレスを持っています。

❗ 固定IPの使用者はDHCPを“OFF”に設定します。

2 * IPの情報設定

ダイナミックIP

設定しません。

固定IP

インターネットプロバイダーにIP情報を確認することができます。

[例]

- ・ IP ADDR : 192.168.001.050
- ・ SUBNET MASK : 255.255.255.000
- ・ GATEWAY : 192.168.001.001
- ・ DNS : 168.126.063.001
- ・ PORT : 5400 (デフォルト)

3 * ダイナミックIPサーバー

ダイナミックIP

下記のように設定します。

- ・ DYNAMIC IP SERVER > 61.250.157.3
- ・ BACKUP IP SERVER > 入力しません。

固定IP

設定しません。

4 * NETWORK FRAME (ダイナミックIP / 固定IP)

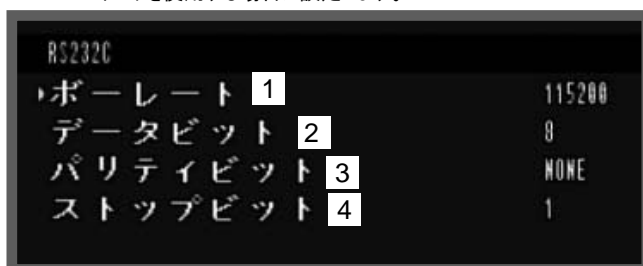
インターネット経由で映像を転送する時にSTILL (停止)映像と転送するかMOTION (動画)で転送するかを選択します。

- ・ STILL (停止): インターネット速度(アップロード)が遅い場合に設定します。
- ・ MOTION (動画): インターネット速度(アップロード)が速い場合に設定します。

! ネットワーク転送フレームは録画のフレームで転送します。
録画が10フレームですと転送も10フレームで転送します。

3-7-2. RS-232C

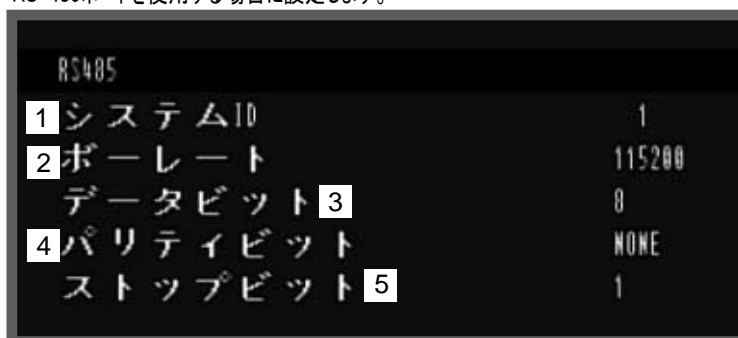
RS-232Cポートを使用する場合に設定します。



- 1** ボーレート: 転送速度を設定します。
- 2** データビット: 転送ビットを設定します。
- 3** パリティビット: エラーチェックの方式を選択します。
- 4** ストップビット: 停止ビットを設定します。

3-7-3. RS-485

RS-485ポートを使用する場合に設定します。



- 1** システムID: システムIDを設定します。
- 2** ボーレート: 転送速度を設定します。
- 3** データビット: 転送ビットを設定します。
- 4** パリティビット: エラーチェックの方式を選択します。
- 5** ストップビット: 停止ビットを設定します。

3-7-4. PTZ

取扱説明書のPTZパートをご参考下さい。

3-7-5. メール

イベントが発生すると10人の使用者にメールで通知することができます。



- 1 メール転送:メールの使用可否を設定します。
- 2 SMTP サーバー:メールサーバーのアドレスを入力します。
- 3 DVR E-MAIL ADDR:システムのメールアドレスを決めて入力します。
- 4 使用者ID:システムのメールIDを入力します。
- 5 パスワード:システムのメールパスワードを入力します。



[次のページへ]



- 6 メールを送り先を入力します。(MAX. 10人まで可能)

4. 検索

4-1. 検索メニューの呼出

4-2. カレンダー検索

4-3. 時間検索

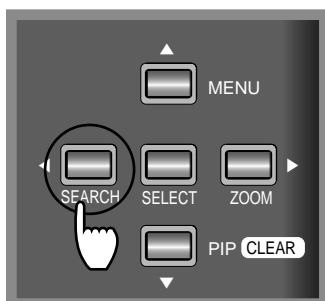
4-4. イベント検索

4-5. メディア検索

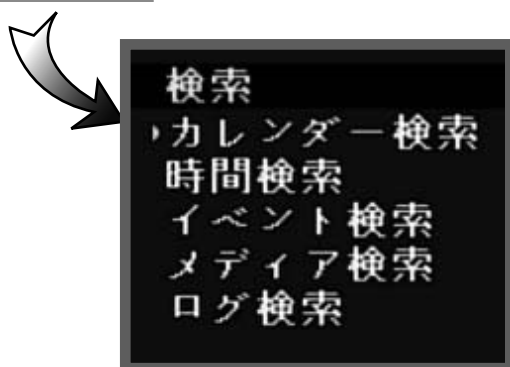
4-6. ログ検索

4-1. 検索メニューの呼出

HDDの録画データを検索して保存した映像を再生します。



ライブから“SEARCH”ボタンを押して検索メニューに入ります。



4-2. カレンダー検索

画面のカレンダーの年度・日付・月・日を選択して録画データを検索します。



- 1 検索する日付(年度・月・日)を選択して“SELECT”ボタンを押します。
* データがある場合には日付が太く表示されます。
- 2 データがある場合には“黄色”で表示されます。
黄色の時間を選択して“SELECT”ボタンを押すと保存した映像の再生が始まります。

4-3. 時間検索

検索したい時間を直接入力して保存した映像を再生します。



- 1** 検索するデバイスを選択します。
 - NORMAL : すべてのデバイス
 - BACKUP : バックアップデバイス
 - EXE0~39 : 外付けHDD
 - HDD1~4 : ハードディスク
- 2** チャンネルを選択します。
- 3** 時間を入力して“SELECT”ボタンを押すと選択した映像の停止画像が表示されてもう一度“SELECT”ボタンを押すと保存した映像の再生が始まります。
- 4** 選択した録画データがある位置を表示します。

4-4. イベント検索

イベント種類を選択して検索することができます。



4-5. メディア検索

USBメモリースティックとCDあるいはDVDの録画データを検索することができます。



- 1 メディアを選択して“SELECT”ボタンを押します。
 - USB_FRONT : システムのフロントにUSBメモリースティックが接続されている場合
 - USB_REAL1 / 2 : システムの背面にUSBメモリースティックが接続されている場合
 - CD-RW/DVD : CDRWあるいはDVDRWを検索する場合
- 2 検索されたリストを選択して“SELECT”ボタンを押すと保存した映像の再生が始まります。

4-6. ログ検索

システムのログを検索してUSBメモリースティックにTXTファイルで保存することができます。



- 1** SEARCH TIME: 検索する時間を入力して“SELECT”ボタンを押すと該当時間のログを検索します。
- 2** SAVE LOG: システムのフロントにUSBメモリースティックを挿入して“SAVE LOG”を選択して“SELECT”ボタンを押すとシステムのログがDvrLog.txtファイルで保存されます。

❗ ログ検索は発生したリストだけを表示して映像は表示しません。

5. バックアップ

5-1. バックアップ(BACKUP)

5-2. 簡単バックアップ(EASY BACKUP)

5-3. バックアップ状態(BACKUP STATUS)

5-4. メディアフォーマット(MEDIA FORMAT)

5-5. メニュー設定ロード

5-6. メニュー設定保存

5-1. バックアップ

保存した映像をメディア(USBメモリースティックあるいはCD,DVD)またはバックアップ用HDDに保存することができます。



- 1 バックアップするデバイスを選択します。
 - MEDIA(メディア) : USB_FRONT(前面部), REAR(背面部)1,2 INTERNAL(内蔵) CD-RW/DVD
 - HDD ID : NORMAL, BACKUP(バックアップ), HDD1-4, EXT(外付けHDD)0~39
- 2 バックアップするチャンネルを選択します。(O,X)
- 3 バックアップする時間を入力します。(マウスでバーをクリックしても設定できます)
“SELECT”ボタンを押してパスワードを入力します。(バックアップした映像を再生する時に必要なパスワードでシステムのパスワードとは異なります。)



❗ バックアップした映像のパスワードは必ず8桁を入力しなければなりません。

5-2. 簡単バックアップ

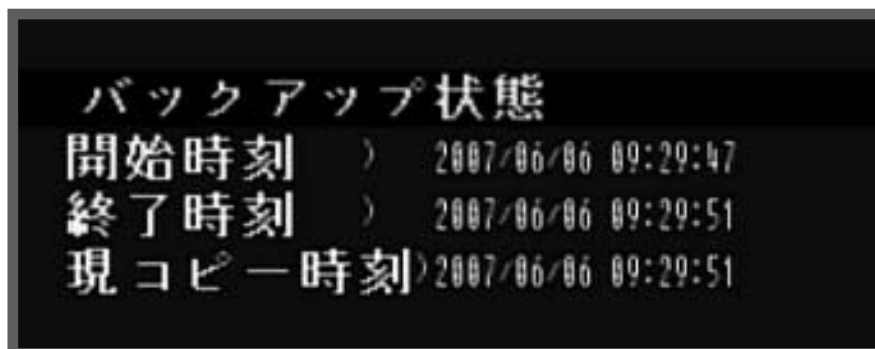
バックアップしたい映像の確認してバックアップすることが出来ます。



- 1 検索デバイスを選択します。
- 2 バックアップするチャンネルを選択します。
- 3 バックアップ開始の時間を設定して“SELECT”押します。映像を見ながらバックアップを終了したい時間に“ESC”ボタンを押すとバックアップメニューに戻って押した瞬間の時間が自動に入力されます。
- 4 保存するデバイスを選択します。
- USB_FRONT(前面部), REAR(背面部)1,2 INTERNAL(内蔵) CD-RW/DVD
- 5 START COPYを選択してSELECT”ボタンを押してパスワードを入力します。
(バックアップした映像を再生する時に必要なパスワードでシステムのパスワードとは異なります。)

5-3. バックアップ状態

バックアップされたデータの開始時間、終了時間、バックアップした時間を表示します。



- 開始時刻：バックアップデータの開始時間を表示します。
- 終了時刻：バックアップデータの終了時間を表示します。
- 現コピー時刻：バックアップを進行した時間を表示します。

5-4. メディアフォーマット



- 1 メディア:フォーマットするメディアを選択します。(メディアがR/Wであるものはまずフォーマットしてから使用できます。USBメモリースティックもフォーマットすることができます。)
- 2 メディアフォーマット:SELECTボタンを押すとフォーマットが始まります。

5-5. メニュー設定ロード

システムのメニューの設定を保存して別のシステムに適用します。

❗ 5-6の方法でメニュー設定を保存してからロードすることができます。

5-6. メニュー設定保存

システムのメニューの設定を保存します。

MANUAL

CMS

CENTROL MONITORING SOFTWARE

1. 遠隔接続

遠隔接続とはインターネットに接続されているパソコンからネットワークを通してシステムに接続し、モニタリング、検索、システム設定などのシステム制御が可能なのを意味します。

1-1. PC要求仕様

PCの最低仕様

- ・ Pentium4 1GHz 以上
- ・ メモリ：128MB 以上
- ・ VGA メモリ：32M 以上
- ・ HDD：10G 以上
- ・ DirectX 8.1 以上

PCのおすすめの仕様

- ・ Pentium4 2GHz 以上
- ・ メモリ：512MB 以上
- ・ VGA メモリ：64M 以上
- ・ HDD：10G 以上
- ・ DirectX 8.1 以上

2. 遠隔接続プログラムのインストール

システムの付属品であるCDにあります。

インストールは付属のCDをパソコンに入れてプログラムを実行すると自動的にインストールされます。

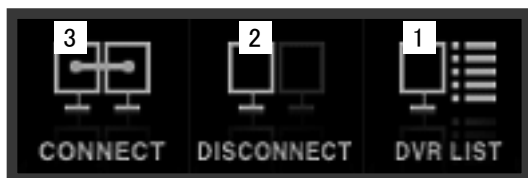
3. 接続方法



(接続した画面)



遠隔接続プログラムは弊社の別のモデルと互換する統合ソフトですのでモデルによって使用しない機能があります。



- 1 遠隔ソフトを実行して上段の“DVR LIST”をクリックするとネットワーク情報を登録するメニューが表示されます。
- 2 接続を切る時に使用します。
- 3 システムに接続する時に使用します。

固定IP使用者

| | | | | | | | | | | |
|----------|-----------|---|-----------|-----------|------------------|-----------|-----------------|----------|--------------------------|------------|
| DVR NAME | FDS1620 | 1 | DVR IP | 3 | 61. 250. 157. 45 | DDNS IP | 61. 250. 157. 3 | 3 | 6 | ADD DVR |
| DVR ID | administr | | DVR PORT | 5400 | 4 | DDNS PORT | 1606 | USE DDNS | <input type="checkbox"/> | SAVE DVR |
| DVR PASS | ***** | 2 | DVR MODEL | FDS-1620M | 5 | DDNS ID | 000A2F20396C | | | DELETE DVR |

DVR NAME : システムの名前を任意で入力します。(例:TOKYO SHINJUKU 1)

- 2 DVR PASS : 遠隔から接続するシステムのパスワードを入力します。



このシステムは“DVR ID”は使用しません。パスワードで管理者と一般ユーザー(ユーザー)を区分します。

- 3 DVR IP : システムに設定した固定IPを入力します。
- 4 DVR PORT : デフォルトは5400ポートです。もし別の装置と同じポートを使っていればポートを変更しなければなりません。このポートを変更したらシステムのネットワークのポートも同じポートに変更します。
- 5 接続するシステムのモデルを選択します。
- 6 すべての設定が終わったら“ADD DVR”をクリックしてシステムを遠隔ソフトに登録します。

ダイナミックIP使用者

| | | | | | | | | | | |
|----------|----------|---|-----------|------------|---------|-----------------|--------------|----------|-------------------------------------|----------|
| DVR NAME | FDS1620 | 1 | DVR IP | 0. 0. 0. 0 | DDNS IP | 61. 250. 157. 3 | 7 | ADD DVR | | |
| DVR ID | administ | | DVR PORT | 5400 | 3 | DDNS PORT | 1600 | USE DDNS | <input checked="" type="checkbox"/> | SAVE DVR |
| DVR PASS | ***** | 2 | DVR MODEL | FDS-1620M | 4 | DDNS ID | 000A2F20396C | 6 | DELETE DVR | |

1 DVR NAME : システムの名前を任意で入力します。(例:TOKYO SHINJUKU 1)

2 DVR PASS : 遠隔から接続するシステムのパスワードを入力します。

❗ このシステムは“DVR ID”は使用しません。パスワードで管理者と一般使用者(ユーザー)を区分します。

3 DVR PORT : デフォルトは5400ポートです。もし別の装置と同じポートを使っていればポートを変更しなければなりません。このポートを変更したらシステムのネットワークのポートも同じポートに変更します。

4 接続するシステムのモデルを選択します。

5 ダイナミックIP使用者は下記のように設定します。

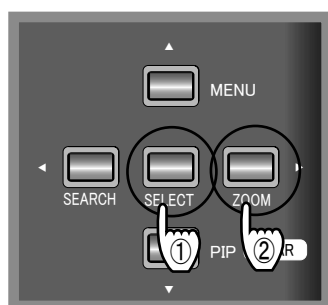
DDNS IP : 61.250.157.3

DDNS PORT : 1600

USE DNS : チェックを入れます。

6 DDNS ID : ダイナミックIPを利用するためにはシステムの固有のIDを入力しなければなりません。

❗ 製品の固有IDについて!!



① ライブ画面で“SELECT”ボタンを押すとDVR STATUS(システム状態)に入ります。

② DVR STATUS画面で“▶”を押すと次のページに移動してMAC ADDRESS項目に00 00 00 00 00 00 12桁の番号が表示されます。これがシステムの固有IDです。

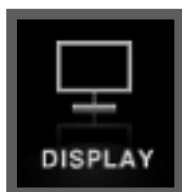
7 すべての設定が終わったら“ADD DVR”をクリックしてシステムを遠隔ソフトに登録します。

4. 登録リストの追加/削除/保存

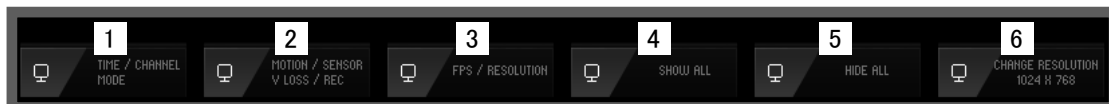


- 1 システムを新規登録する時に使用します。
- 2 システム情報を修正して保存する時に使用します。
- 3 登録したシステム情報を削除します。

5. ディスプレー

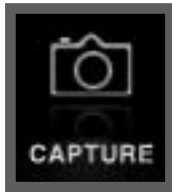


画面に表示される文字および解像度を設定します。



- 1 TIME / CHANNEL MODE : 画面に時間、チャンネルを表示
- 2 MOTION/SENSOR/V LOSS/REC : 画面にモーション、センサー、ビデオロス、録画状態を表示
- 3 FPS / RESOLUTION : 録画速度(フレーム)、解像度を表示
- 4 SHOW ALL : すべての項目を表示
- 5 HIDE ALL : すべての項目を隠す
- 6 CHANGE RESOLUTION 1024 X 768 : パソコンの解像度を1024 X 768に変換してフル画面で表示します。

6. キャプチャー



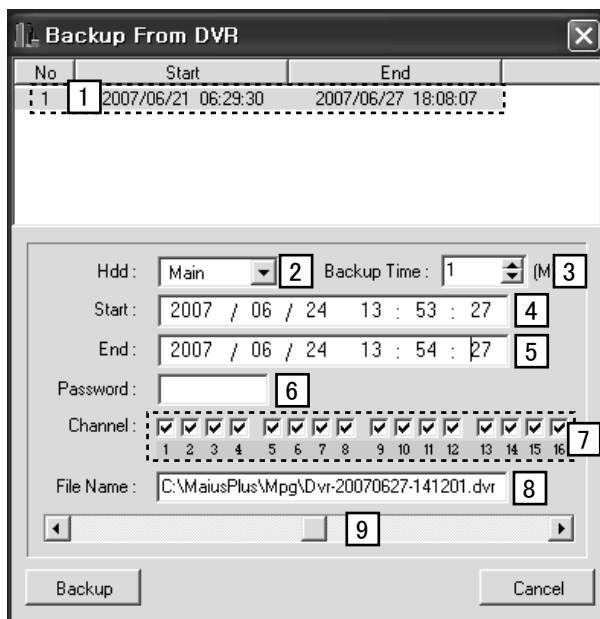
ライブ画面をキャプチャーして静止画像でパソコンに保存します。

保存フォルダ : C:\MAIUSPLUS\CAPTUREに保存されます。

7. バックアップ



システムHDDの録画データを遠隔ソフトでバックアップすることができます。



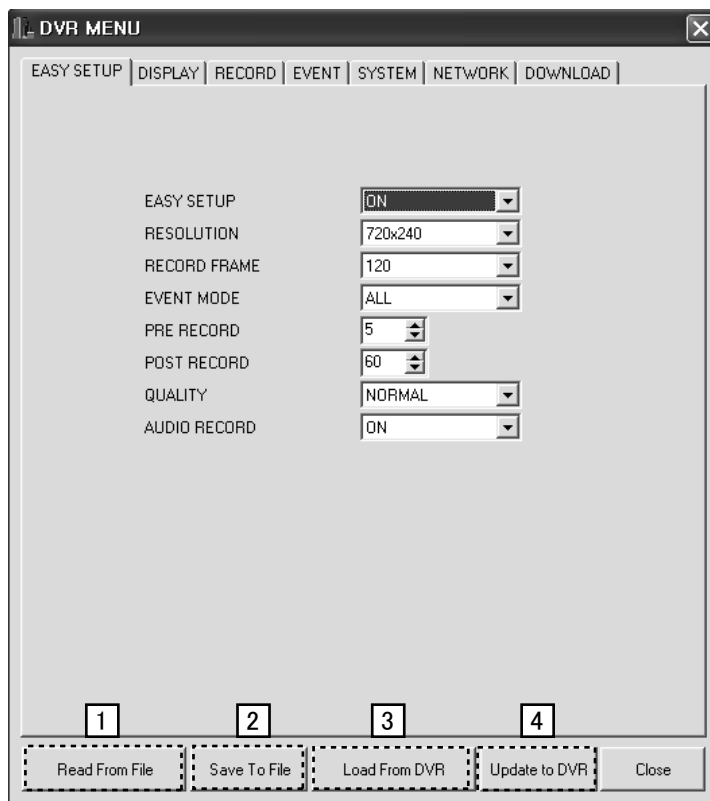
- 1 システムHDDの録画データのスタートタイムとエンドタイムを表示します。
- 2 保存するデバイスを選択します。
 - MAIN : システムのHDD設定の中で“MAIN”に設定したすべてのHDDデータをバックアップ
 - BACKUP : システムのHDD設定の中で“BACKUP”に設定したすべてのHDDデータをバックアップ
 - HDD1, HDD2.... : 各々のHDDを選択してバックアップ

- 3 Backup Time : バックアップ時間を設定します。(単位 : 分)
- 4 Start Time : バックアップ開始時間を設定します。
- 5 End Time : バックアップ終了時間を設定します。
- 6 Password : バックアップファイルを再生する時に必要なバックアップ専用のパスワードです。
- 7 Channel : バックアップするチャンネルを選択します。
- 8 File Name : 保存フォルダおよびファイル名を変更することができます。
- 9 マウスでより易くバックアップ時間を選択出来ます。

8. 設定



設定方法はシステムの設定方法と同じです。



1 Read From File : システムの設定を呼び出す時に使用します。

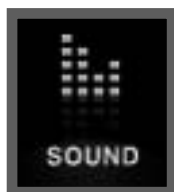
! システムの設定を保存
現在のシステムの設定を保存して別のシステムに同じ設定を適用することが出来ます。

2 Save To File : 現在のシステムの設定を保存する時に使用します。

3 Load From DVR : 保存した設定をロードする時に使用します。

4 Update to DVR : ロードした設定をシステムに適用する時に使用します。

9. 音声



遠隔でシステムからの音声を聞くことが出来ます。



1 チャンネル1の音声を聞きます。

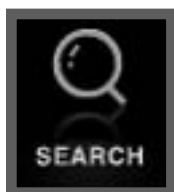
2 チャンネル2の音声を聞きます。

3 チャンネル3の音声を聞きます。

4 チャンネル4の音声を聞きます。

5 すべてのチャンネルの音声をオフします。

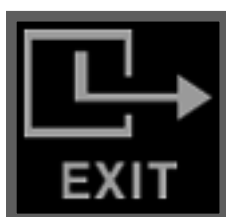
10. 検索



- 1 時間検索
- 2 イベント検索
- 3 カレンダー検索
- 4 再生画面をコントロールします。
- 5 ライブ画面に戻ります。

ⓘ 各検索の機能はシステムの検索機能と同じです。

11. 終了



遠隔接続プログラムを終了します。

